



### 赤平市の「花」……コチヨウラン

市の「フラワーパークタウン構想」及び「花のまちづくり事業」として、平成6年「ポスト石炭」の期待を担って登場したのが花の貴婦人と呼ばれるコチヨウラン。バイオ技術でクローン苗の生産から鉢花の出荷・販売まで行っております。



### あかびら火まつり

夏の宵、市内三方から集められた松明の火によってズリ山に点火され、暗闇の中に炎で描かれた「火」の文字がくっきりと浮かび上がり、赤フンの若者たちによる火神輿、火よつとこ踊りでまち全体が熱気に包まれます。



国際ロータリー第2510地区・DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL

2002-2003 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER No.6

# ガバナー月信

12月号  
December

2002-2003年度ガバナー GOVERNOR 小林 博 KOBAYASHI HIROSHI

〒060-0042 札幌市中央区大通西6丁目北海道医師会館6F 電話 011-219-2510 Fax 011-222-1526 E-mail:scs-hk@phoenix-c.or.jp  
Odori-West 6, Ishikai Bldg. 6F, Chuo-ku, Sapporo, Hokkaido, 060-0042 Japan Tel.81-11-219-2510 Fax.81-11-222-1526  
E-mail:scs-hk@phoenix-c.or.jp



## 改革への第一歩

### — 討論をたのしもう！



小林 博

12月は特別の「～月間」ではないので、自由なテーマについて書いてみよう。改革についてである。改革といっても革命をいうのではない。とにかく変えていかねばならないとの思いからである。決して過去と現在を否定するのではない。ただ新しいものを創っていかねば世の中の動きについていけないというだけである。

ここで問題にしたいのは、「ロータリーの改革」である。だが改革と言っても言うは易しく行うは難しである。そこで今回は改革の第一歩として「きちっとものを言う」ことがいかに大切であるかを述べてみよう。

世界をざあっとみて欧米人は日本人に比べ「和の心がない」といわれる。自己主張ははっきり言うから、和の心がないようにみえるかもしれない。事実、彼らは何かを決めるのに喧嘩がくがくと議論する。この意味での和の心はない。しかし、彼らは一旦決まったことに対してはまさに和の心をもってよく協力し、一致して問題の解決に当たる。これはなまじ我々の和の精神もかなわないほどの団結ぶりである。

アメリカの高校生はディベート（討論）をスポーツのように楽しむ。一つの問題をめぐって、違った立場に立って徹底して討論する。だが、どんなに厳しいディベートをしても結論が出たらあとは和やかである。

日本人はあまり議論を好まない。まあまあと「事なかれ」ですませてしまう。曖昧にしておくことが多いのである。実際そうしておくことのメリットもある。だが、世の中はそうはいかなくなってきた。白黒をはっきりつけねばならぬ事態が多くなったし、外交問題にしても曖昧にしておくことによるトラブルが多くみられるようになったのである。

だから問題の明解な解決のためにも、また新たな展望のためにも、まず議論することに慣れていく必要がないだろうか。すぐに感情的に喧嘩になることが多いのだが、少なくとも議論（話し合いといったほうがいい）は悪ではない。問題のスマートな解決にも、また新たな発想の展開にも、議論はむしろ大いに歓迎すべきものである。

わが2510地区ではとくにワークショップが推奨されている。単なる講義でもなく、シンポジウムでもない。みんなが同じ目線で率直に討論し、討論の中から一つ新しいものを創っていこうというのがワークショップの狙いである。

繰り返すが率直な討論は事をあらだてることではなく、また喧嘩でもないし、単なる言い訳でもない。自分に正直であり誠実であることの証しであり、また堂々と勇気のあることの証しでもある。

さらなる希望を申しあげれば、ロータリアンが自分の意見をきちっと言うことの大切さを思うだけではなく、率先実践・行動していただきたいものである。ビジョンよりアクションが大切なのである。そういったことに対する勇気をもって行動していけば、「ロータリーの将来は明るい」と私は確信する。

## 目次

ガバナーレター	小林 博	2	札幌西RC・新札幌RC・札幌南RC	
ロータリーの歴史に学ぶ(4)	西條 正博	3	会員の声	23
ガバナー・ノミニー決定宣言		4	伊藤知佳子(札幌北RC)・米谷 龍三(札幌東RC)・	
(財)ロータリー米山記念奨学会表彰		4	山本 幸子(江別RC)・青木 功喜(札幌東RC)	
ロータリーQ&A		5	2003年度RI年次大会(94回)プリズベン大会ご案内	25
文庫通信		5	追悼 富山惟夫ガバナー	26
ガバナー日記		6	石垣 博美(札幌セントラルRC)・	
ガバナーとの対話①		7	遠藤 正之(札幌南RC)・大沼 哲郎(留萌RC)	
地区大会特集		9	10月会員増減数・出席率報告	28
ガバナーとの対話②		15	ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます	28
地区活動紹介		17	訃報	28
家庭奉仕委員会・社会奉仕委員会・			事務所だより	28
友情交換委員会・GSE委員会			掲示板	29
クラブ活動紹介		20	12・1月地区カレンダー	29
札幌東RC・栗山RC・函館亀田RC・札幌あけぼのRC・				

# ロータリーの歴史に学ぶ(4)

.....地区研修リーダー 西條正博 (札幌RC PG)

日本にロータリーが入ってきた頃は、長い鎖国の時代から明治維新を経て、大正デモクラシーの時流にあったとは謂え、当時の日本人々にとっては、ロータリーの精神はもとより、組織運営についても、これを理解し、受け入れることはまことに容易ではなかったようであります。

片や東京クラブは、一等国の面目にかけて一日も早くシカゴ、ニューヨーク、ロンドンなどのクラブと肩を並べるために、その例会や運営は、それにふさわしいようにとのえることに尽力し、一方、大阪クラブはロータリーの精神やその組織をいかにして日本の当時の実状の中に調和させるかに努力をしたのであります。

昭和の初期には、当時の緊迫した日本国内の情勢に鑑み、細心の注意を払って誤解を避けるべきだという空気が強くなり、ロータリーの日本化問題が真剣に叫ばれるようになりました。

昭和3年の太平洋ロータリー大会では、大阪クラブの土屋大夢は、「ロータリー以前の偉大なるロータリアン」と題して二宮尊徳の話をして、至誠、勤労、分度、推譲にふれ、その報徳の教えはロータリーと同じではないかと言って、二宮翁夜話の水車の話や湯舟のたとえを示して一同に感銘を与えました。昭和5年には日本語のロータリーソングの話が出ましたが、昭和10年の京都年次大会に於て日本語のロータリーソング応募作品の入選発表があり、入選した4作品のうち、「奉仕の理想」と「我等の生業」が今でも盛んにうたわれています。

軍部と右翼の弾圧が全国的に顕著になったのは昭和10年頃からで、その年の11月1日には国家社会党から、「ロータリーは国家思想に反するフリーメイソンの外郭団体だ。」ときめつけた書面が京都ロータリー・クラブに送られてきました。国家社会党とは、その後石川芳次郎京都クラブ会長との間で、例会に国旗を掲載し、君が代をうたうという条件で話し合いがつかしました。

昭和14年には、東京の三越で内務省および陸海軍省の後援のもと各種の秘密結社のスパイ活動の展示があった時、

その結社の中にロータリーも加えられているのを見て驚いて取り除きを求めましたが攻撃の手はゆるめられませんでした。そこで東京クラブ会員松井茂が貴族院議員として4月議会で政府にこのことを質問し、有田外相から、「ロータリーは国際親善に寄与するところ大なるものがあり、政府は巷間行われているごとき見解を有していない。」という答弁を得て辛うじて危機を逃れたのであります。

ところがその翌年、日満ロータリー連合会長米山梅吉は軍当局に呼び出され、ロータリーの組織機構は日本帝国に対する反逆であると極言せられ、さらに静岡、大阪、京都をはじめ地方のロータリー・クラブは続々と解散離脱に踏みきりつつあるとの報に接し、ここに統制はまったく乱れ、ついに日満ロータリー連合会は国際ロータリー離脱を決意し、東京クラブもまた9月11日に解散し、戦前の日本ロータリーは20年に満たない歴史の幕を閉じたのであります。

この当時のクラブ数は日満を含めて48（内地クラブ37、外地クラブ11）、会員数2,142名でありました。

戦後日本のロータリーが国際ロータリーに復帰したのは昭和24年4月のことであり、解散から9年近い空白がありましたが、この間もクラブの名称を変更し、危険をおかしながら一回も休むことなく例会を継続したクラブが、札幌、小樽を含めて全国に19クラブあり、このロータリーに対する熱情が国際ロータリーを動かして日本ロータリーの復帰を早めたことは、特記しておく必要があります。(完)

.....

毎号ご愛読を賜り厚くお礼申し上げます。

本稿は、『ロータリー日本50年史』に拠りました。5年の歳月をかけて昭和46年6月30日に発行されたもので、430頁、そのうち資料・年表に150頁を割いて充実しております。古いクラブなら事務所に必ず一冊、地区文献資料室にも保存されていて、閲覧自由です。また11年後の昭和57年10月1日には404頁に及ぶ『ロータリー日本60年史』が発行されております。以後は発刊されておられませんし、企画もないようです。



# ガバナー・ノミネー決定宣言

国際ロータリー第2510地区

会員各位

2004～2005年度国際ロータリー第2510地区ガバナー・ノミネーの選出については、地区ガバナー指名委員会より、遠藤秀雄君（登別RC）が選出された旨、報告を受けました。

国際ロータリー細則第13条第2節（13.020.）に基づき、遠藤秀雄君を2004～2005年度第2510地区ガバナー・ノミネーとすることを決定し、ここに宣言致します。

2002年11月15日

ガバナー 小林 博



2004～2005年度 国際ロータリー第2510地区

ガバナー・ノミネー

会員名 遠藤 秀雄（登別RC）  
 生年月日 昭和8（1933）年生まれ  
 職業分類 病院  
 事業所名 医療法人友愛会恵愛病院理事長  
 （登別市鷺別2丁目32-1）  
 入会年月日 昭和44（1969）年12月14日

**【学歴】**

1961年 3月 北海道大学医学部医学科卒業  
 1962年 3月 北海道大学附属病院にてインターン終了  
 1962年 4月 北海道大学医学部精神医学教室に入局  
 1975年12月 学位取得

北海道精神病院協会副会長  
 北海道精神保健協会副会長  
 室蘭地区精神保健協会会長  
 登別市医師協議会会長

**【職歴】**

1968年 3月 恵愛病院院長に就任  
 1976年12月 医療法人友愛会理事長に就任  
 北海道精神医療審査会会長  
 日本精神科病院協会代議員及び北海道支部常任理事

**【ロータリー歴】**

1969年 入会（チャーターメンバー）  
 1972年～73年 幹事  
 1980年～81年 会長  
 1993年～94年 分区代理  
 ポール・ハリス・フェロー

**(財)ロータリー米山記念  
 奨学会表彰**

（2001年7月1日～2002年6月30日）

米山功労者		2510区
クラブ名称	氏名	功労者回数
伊達	川岸 洋一	1
恵庭	山田 邦昭	1
深川	渡辺 一義	1
函館	太刀川 善一	1
函館五稜郭	光 銭裕	1
函館東	池垣 清二	5
	小泉 護太郎	2
	森元 浩子	2
	鍋谷 操	3
岩見沢	横 孝	1
	鎌田 誠	1
	仲屋 成裕	1
室蘭	岩田 弘志	1
室蘭東	森村 亮夫	1
	村木 一夫	1
室蘭北	熊上 弘一	1
七飯	谷野 義夫	1
小樽	青木 真一郎	2
	角江 哲雄	1
小樽南	北野 明	1
留萌	北 井 誠	1

札幌はまなす	高田 潔	1
札幌東	佐藤 一郎	1
	川原 宏	1
	野村 昭光	2
	奥貫 一	2
	田中 俊彦	2
札幌北	山崎 次	1
	相沢 美東	1
	杉下 清次	1
札幌幌南	海野 賢一	1
	中野 英爾	1
札幌真駒内	海山 健視	1
	中指 川裕	4
札幌南	指市 隆	1
	岩城 秀晴	3
	金井 英明	1
	川崎 秀雄	1
	工藤 武久	1
	夏井 信幸	1
	杉山 隆俊	1
札幌西	沼 憲三	1
新札幌	福士 恭次	1
静内	梅庭 泰弘	1
砂川	伊藤 徳博	1
	大谷 春男	1
滝川	細田 光人	1
	吉田 正	3
苫小牧	横田 稔	1
苫小牧北	伊藤 長	3
	山崎 正寿	1

**功労クラブ**

クラブ名	功労クラブ回数
伊達	7
深川	9
函館	8
函館五稜郭	6
函館東	17
岩見沢	20
室蘭東	2
室蘭北	4
長沼	2
七飯	3
登別	4
小樽	5
小樽南	5
札幌はまなす	2
札幌東	24
札幌北	18
札幌幌南	12
札幌南	26
新札幌	11
砂川	8
滝川	19
苫小牧	3
苫小牧東	3
苫小牧北	9

※プログラム訂正

Q. 定款第6条第4節「現実に職業活動に従事しなくなったということ」の意味について教えてください。下記理由により退会した会員が、再度入会する場合、入会金の取り扱いはどうなりますでしょうか。

- 1、病気治療のため休職した場合
- 2、会社員が定年により会社を退職した場合
- 3、医師が病院を廃業した場合

A. 定款第6条第4節は移籍ロータリアン又は元ロータリアンの規定条文です。「現実に職業活動に従事しなくなったということ」の前文に「移籍する会員または元クラブ会員を正会員に推薦することが出来る」が、被推薦者が所属していた所在地域内またはその周辺地域で保持していた職業分類の下で職業活動に従事できなくなった場合でなければならぬということです。

(例) 全国的組織を持つ企業で転勤の場合  
個人企業が他の地域に移転する場合等々

- 1、2、3の場合いずれも移籍又は元ロータリアンの部類ですので、二度目

の入会金は必要としません。

但し、入会時に諸費用徴収がクラブ細則に規定されている場合諸費用の納入義務はあります。

クラブ細則で入会金を減額しそれを諸費用に充当させる場合は、RI定款に背馳することになります。

あくまで、二度目の入会金納入の義務を免除しなければなりません。諸費用とは別個で移籍又は元ロータリアンと一般的な会員候補者の入会金納入義務との公平を欠くこととなります。

Q. 東京のクラブに入会していた会員が、転勤先の都合により札幌に転勤を命ぜられ、札幌のクラブに入会する場合について教えてください。

- 1、定款第10条「2度目の入会金の納入を要しないものとする」の意味は、一切入会金を徴収してはならないとの意味でしょうか。
- 2、東京のクラブの退会時と札幌のクラブの入会時に、隔たりがある場合期間に制約はあるのでしょうか。

普通は3カ月程度で入会の申込のなされることが多いと存じますが、1年を超えるブランクがあった場合は、どうなりましようか。

- A. 1. 定款第10条は、移籍又はロータリアンの二度目の入会金を要しないと

いうことは入会者の特典とした条文であってこの権利を剥奪することはできません。もし減額してでも徴収するとすれば、定款第10条を否定することになります。

2. 移籍する会員又は元ロータリアンが、クラブを退会し移籍又は他のクラブに入会するまでの期間は定められておりません。

Q. 年末年始の例会休日とメイクアップについて教えてください。年末年始に例会日が当たる場合、休会とすることができのでしょうか？ また、メイクアップの受付が必要でしょうか？

A. 年末年始の例会日を休会とする場合は、定款第5条第1節(C)により、「理事会裁量に基づき、1年に4回まで例会を取りやめることができる」を該当させることができます。

また、メイクアップの受付ですが、定款・細則等で決められておりませんが、ロータリー会員の特典の一つに「世界中どここのクラブの例会に出席することができる」ことを考慮すると、当然メイクアップの受付は必要とされるものである。しかし、受付はロータリアンと限られていないので、ホテル等のフロントで代用は可能である。

## 文庫通信



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### ロータリーの奉仕活動

- ◎「新世紀のロータリー奉仕活動について〈パネルディスカッション〉」  
南園義一 他 2002 4p (D.2710地区大会)
- ◎「新世紀の地域社会奉仕」  
仁田一也 2002 6p (D.2710 合同IM)
- ◎「国際社会とボランティアロータリーへの期待とロータリアンの役割」  
本間正明 2002 7p (D.2660地区大会)
- ◎「ロータリーは何をなすべきか〈パネルディスカッション〉」  
本間正明 他 2002 7p (D.2660地区大会)
- ◎「ロータリーで今、変えることと変えてはいけないこと〈パネルディスカッション〉」  
黒田正宏 他 2002 4p (D.2830地区大会)

- ◎「地域社会と地球社会をつなぐ力〈シンポジウム〉」  
2002 11p (D.2810地区大会)
- ◎「新世紀のロータリー」  
板橋敏雄・関場慶博・高橋福八 2002 6p (D.2570地区大会)
- ◎「新世代育成のため今なすべきロータリーの役割〈シンポジウム〉」  
藤川享胤 他 2002 12p (D.2530地区大会)
- ◎「ロータリーの未来とそのあり方」  
千宗室 2002 6p (D.2650地区大会)
- ◎「ロータリー遠望」  
森三郎 2002 8p (D.2610地区大会)  
[上記申込先：ロータリー文庫(コピー)]

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F  
TEL 03-3433-6456 FAX 03-3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



## 播こう 慈愛の種



RCの幹事前田恒雄さんが優勝。7段の腕前ながら次は8段とみんなに祝福される。集まる人凡そ50名。地区の囲碁熱はたいしたもの。

11月13日（水）朝になって大会プログラム完成、直ちに来賓、パストガバナー、ガバナー補佐に直送。大会前に何とか見ていただけてよかったと思う。だが、会長、幹事、一般会員は大会当日まで待っていただくことになる。

大会実行委員ほか関係者はみんな厚生年金、ロイトンの現場での打合せに懸命。一方、事務所では表彰状その他細かなことの準備に大多忙。みなさんのご協力には本当に脱帽である。

### 地区大会終わって

詳細は別ページにゆずるとして、大会初日の委員会報告はすべての委員長さんの簡潔なまとめで、初の試みとしてはうまくいったと思う。次の記念フォーラムも3人の現職ガバナーの熱弁と、それに引き続くフロアとの活発な質疑で大好評のようであった。

大会2日目は私の早とちりで大切な来賓の方々のお名前を飛ばしたり読み違えたりで散々。滅多にあがることのないのに、やっぱりあがっていたのだろう。それとリハーサルもない、いきなり本番で行き違いも起きたりで、

れる。限られた予算の枠内で、印刷屋さんにもえらい面倒をかけ何とか満足なものが出来たように思う。

11月10日（日）夕刻、地区大会の前哨戦としての囲碁大会の表彰式に出席。札幌幌南

厳粛であるべき大会の雰囲気がおかしくなった。堅さがとれて「かえてよかった」と慰めてくれる人もいたが、「失敗は成功のもと」ということでお許しをいただこう。

大会前日の11月15日、92-93年度のガバナー富山惟夫さんの訃報が入る。7月13日公式訪問の途次にお伺いしたときはお元気だったのに残念至極。17日の記念懇親会終了のあとホストの札幌北RCの皆さんに心から御礼を申し上げたあと一旦帰宅。着替えのあとすぐ車で留萌に。お通夜にギリギリ間に合ったが、夜は留萌RC道重幸会員の光風館のお風呂でここ数カ月の疲れをとる。大会が終わったとの実感にひたりようやくホッとす。翌朝告别式に出席のあと、札幌幌南RC金子均会員の車に便乗して帰札。

## 咲かそう 慈愛の花



### GSEのみなさんバイバイ

フィリピンからのGSEメンバーは本当に評判よかった。各クラブのお世話も大変なことだったろう。ホストファミリーのご苦労は勿論である。5週間は短くもあり長かった。11月19日（火）、離札前夜の反省会ではGSEメンバーが涙したのを受けてわが地区GSE委員会委員ももらい涙したという。アジア人としての共感がそうさせたのであろうか、初めての経験。翌日ライフォートホテルに全員を見送る。

それにしてもGSE地区委員のみなさん本当にご苦労さん。武藤順（札幌西RC）さんと高橋宏（札幌清田RC）さんの英語には随分お世話になった。何ととっても山名善久委員長さんはじめGSE委員の全員本当にご苦労さん！！

## ガバナーとの対話① —会長幹事懇談会メモより

—会長幹事懇談会におけるガバナーとの対話を出来るだけ忠実に紹介するものである

### 地区と会員の距離感

- Q. 地区と一般会員の間の距離が大きすぎる。あるいは両者のつながりが希薄な気がするのだが、これからどのような対処を考えているか。
- A. 両者の溝が意外と大きいという考えから、それを打開するために月信の全員購読をお願いした。月信には会員からの生の声を紹介するようにしている。またワークショップで特定のテーマについての突っ込んだ話し合いをすることもお勧めしている。

今年のビチャイ・ラタクルRI会長のいわれる「ロータリーを良くするためにはトップダウンではなくボトムアップを大事にしなければならぬ」のだが、このボトムアップの勢いが強くなれば当然、地区と会長との繋がりも深くなっていくだろう。また、公式訪問でガバナーは従来拍手で送り迎えされるという儀式的な場面が多かったが、一般会員と同じように予め入場し、一般会員との懇談の機会を増やすことも両者の距離を縮めることの一助になると考えている。



## 家庭奉仕に賛成

- Q. 慈愛の種は家庭から播きましようの方針は非常に賛成である。
- A. ご理解をいただき有り難い。現在家庭奉仕委員会で何をなすべきかを勉強している。こういった会にも出来るだけ沢山の方々の参加をお願いしたい。全国青少年育成委員会なるものも結成されたが、当地区としてはその育成委員会の切り口として社会奉仕や家庭奉仕から入って行きたいと思う。

## ロータリーゾーン研究会とは

- Q. ロータリーゾーン研究会とはどういうものなのか、これに相当の予算が使われているようだが実態はどうか？
- A. 年一度のロータリーの勉強会で主にパストガバナーの参加によって行われる。親睦の意味もあるのでご夫人の同伴もあるが、地区予算はパストガバナー本人のみを対象としている。しかも予算が緊迫化しているので相当の自己負担をお願いしている。
- Q. (ガバナーから) GSEはご苦労様でした。お世話が大変だったでしょう。



- A. (会長幹事から) お世話が大変だったが、フィリピンからのGSEメンバーと楽しく有意義だったと思う。歌もありお酒もあり盛りあがった。

## 地区大会は面白くない

- Q. 地区大会は儀式ばかりで面白くない。だから欠席者が意外と多いが、高い金を出してやるだけの意味があるのか？
- A. 面白いかどうかの規準ではなく勉強になったかどうかでないか。反省すべき点は多々ある。今回は11月16日(土)は委員会報告、記念フォーラムなど主として勉強、17日(日)は主として儀式だが、ガバナー特別表彰も重々しくやりたいし、感動的なものにしたい。アグネス・チャンの記念講演にも期待したい。

## 財団年次寄附の使途

- Q. 年次寄付はロータリー財団本部に集められ、3年間は財団がこれを投資し3年後に60%が地域財団活動資金に40%が国際財団の活動資金になるとされている。またこの間の収益は事務局の運営費、プログラム管理費、寄付増進費に使われることになっている。2001-2002年度の年次寄付の目標額は一人当たり61ドルで計7,300万ドル(約89億円)。毎年順次投資されるので1年間の投資運用額は約260億円となる。この運用内容や結果に関する情報は我々の耳に入っていないが、ガバナーは

ご存知か? 2001年6月から国際ロータリー日本事務局と世界本部のデータベースが繋がったとの事だがその中で見る事が出来るのか?

- A. 数字として観念的には理解しているが具体的な収支はわからない。ロータリー財団については月信11月号にやや詳しく紹介されたが、実際の運用についてはこれから知るようにしたいと思う。

## ITか印刷物か

- Q. インターネットが普及してきたので必要な情報はそこから入る。ガバナー月信の印刷物に代えてインターネットで月信の情報を流している地区もあると聞くのだが、わが地区ではなぜ月信の充実をはかるのか? 経費的にも問題はないか?
- A. インターネットが普及してきたことによる情報伝達の新しい動きは承知している。だが必要な情報をインターネットで受けることの出来る地区内ロータリアンは凡そ1~2割と推定している。そうすればインターネットを使わない8~9割の人への情報伝達はどうなるだろうか? 地区の全会員一人ひとりの声を十分反映、月信を読みながらロータリーを考える糧にさせていただきたいとの願いから月信の全員購読をおすすめしている。月信は全員購読の原則で1冊100~120円ですむ。月信は地区のロータリーの友でありたいと思う。

- Q. Bottom upが言われながら地区からのTop downが結構多いように思うのだが。

- A. 本来bottom upとtop downの区別をどこで線引きすべきかわからない。bottom upがすべてで善でtop downがすべて悪ということはないし、逆もまた真ならずである。Bottomからの声が出てこないとき、ボトムの声を大にさせていただくためにtop downでボトムに激を飛ばす事もある。あってよいのではないか。両者区別なく信頼関係を築き組織をいかに活性化するかに意を尽くす点で一致していきたい。



ガバナー月信Governor's Monthly Letterのイメージも変わってきた。「ロータリーの友」が全国ロータリアンの必読書であるように、月信は地区の「ロータリーの友」でありたい。会員の声を吸収するなど内容の充実にも努力中であり、地区内の全員購入をおすすめしている。

# ◆ 地区大会特集 ◆

11月16日～17日

## 地区大会は成功か

地区大会は天候にも恵まれて11月16日～17日の2日間、札幌市の北海道厚生年金会館とロイトン札幌ホテルの2会場で総計1,873名が集まり、開催された。

第1日目は、12時30分より「会長・幹事会」が行われ、各種協議・上程案件について審議された後、本年度の大会運営について報告され、13時40分からの本会議（1）に臨んだ。本会議では、前年度の決算・監査報告・大会運営について登録・信任状・選挙管理の各委員会より報告があり、大会決議案の上程・承認と続き、地区内30委員会の各委員会より活動報告並びに計画の発表が、1時間45分にわたって行われた。

その後休憩をはさみ、本大会のハイライトの一つである記念フォーラムが「慈愛の種からどのような花を咲かせるか—新世紀におけるロータリー運動の目標と戦略—」をテーマに、他地区の現職ガバナー3人をゲストスピーカーに迎えて行われた。発表後は、熱気のコもったフロアからの意見や提言が数多くあり時間が不足するほどで、ロータリーの将来に希望と夢を感じさせるものであった。

第1日目の本会議を終了し、ウェルカムドリンクでしばしのどを潤し、フォーラムの熱気をさまして晩餐会に入った。RI会長代理ご夫妻の歓迎晩餐会には、会長幹事の方々ばかりでなく、会員どなたも自由参加の開かれたアットホームな温かな雰囲気の中が行われ、アトラクションには北海道二期会メンバーによる演唱も加わり、和やかに打ち解けた交流が続けられ第1日目のスケジュール

を終えることができた。

第2日目は、会場を北海道厚生年金会館大ホールに移動し、オープニングは札幌西・手稲・西北・あけほのRCのメンバーによる合唱で始まった。会場の雰囲気はロータリーの地区大会へと一気に盛り上がった。

点鐘・国歌・ロータリーソング斉唱・挨拶・来賓紹介・追悼に続き、12グループガバナー補佐の方々より参加クラブ紹介があり、表彰・記念品贈呈があった。

記念講演会には、歌手生活30周年を迎え「The Seeds of Love」を掲げ、「小さな命からの伝言—少子高齢化社会への提言—」をテーマに、アグネス・チャン氏に、自らの豊富で貴重な体験を交えてお話をいただいた。大ホールの方々で目頭を押さえるロータリアンの姿を多く見かけるほど、感動的で示唆に富む講演であったようです。

懇親会は、函館・えりも・羽幌など遠隔地の方々の帰宅時間を考慮し昼食会として、全てのスケジュールを午後3時に終わることができた。懇親会ではGSEの紹介、7名の会員誕生祝いのほか、音楽と映像によるコンサートで会員による手作りながら心のこもったもので、出席者の興味を引き評価の高い構成だった。

RIの「慈愛の種を播きましょう」のテーマのもと、地区大会テーマに「咲かそう慈愛の花」を掲げ、ロータリーを見つめ直す機会ともなった。

### 第1日目

#### 変革の地区大会

松見修二（函館北RC）

1986年8月6日、三浦G公式訪問の折、バッジを付けて頂いて以来16年の歴が経過しようとしている。出席率は100%を持続、さらに地区大会参加は11回を数えるに至った。これまでの参加歴の中で何か印象に残ったものが有ったのだろうか、大半は開催地での夜の酒宴に参加意識が強くあった。従来、地区大会は記念フォーラム、基調講演と一律のプログラムで進行し、更に地

区大会が終わると、その年度の終了を意味するものと成っていた事も否めない。

手続要覧の改定に伴って、地区大会をその期の前半に開催する事によって、この後にクラブ協議会を行なう事が意義深いものになると言える。

記念フォーラムは分科会とせずに、参加者が一堂に会し、3人のパネリストが全く違った観点からの発表、そしてフロアとの議論、これぞ小林Gの望む所であったのではないか。アグネスの基調講演は聴衆を引き込み、笑いと涙で感動を受け心が洗われる思いがした。

私が加盟する協会の全国大会が9月に開催され、この時は萱野茂氏がアイヌ民族の過去と現状に付いて講演があり、一つの民族が危害を受け衰退して行く話と考えさせられたのは記憶に新しい処であり、人類が人類を滅亡に導くことは決して有ってはならない思い

が強く残った。今回のアグネスの基調講演を一般公開、或いはネット配信が出来たなら更に大きな意義が生まれたと思われる。

終わりに一言、小林Gご苦勞様でした。そして感動を有難う御座いました。

### 会長・幹事会



ロータリーソング斉唱



小林ガバナー開会挨拶



進行 竹原 巖  
(地区幹事)



受付

## 各委員会報告

地区大会初の試みとして、30委員会より活動報告と計画の発表がありました。



## 記念フォーラム

### 夜空に慈愛の光が輝いていた

斎藤修弥 (室蘭RC)

4年振りに参加した地区大会は寒風ふきすさぶ11月16日、地区内72クラブから多数の会員が参加して盛大に開会された。前半のメインである委員会活動報告は、各委員長が短い持ち時間をフルに使って、如何に創意工夫しながら情熱を持って、委員会活動を展開しているかという迫力が伝わってくる内容であった。5分間の休憩の後に始まった記念フォーラムは、小生の期待したプログラムである。テーマ-新世紀におけるロータリー運動の目標と戦略-の決定こそ、本地区大会最大の重要

事項だからである。果たせるかな2時間にわたって展開された粒よりのスピーカーとフロアーとのダイアログは、参加者を充分納得させ、考えさせそして勇気づける素晴らしい内容であった。その夜私は、歓迎晩餐会を終えて会場の外でたまたま見上げた夜空に、燦然と慈愛の光が輝いていた様な気がしてならない。それほど印象的かつ感動を覚えた本会議の初日であった。



記念フォーラムのスピーカーの方々

### ロータリーの今後を真剣に論議

伊藤正敏 (岩内RC)

コーディネーターの2510地区小林ガバナーは、世界の平和への貢献のためロータリークラブは手を拱いてはいけない。124万人のロータリーアンが原点に帰って考えていく必要があるのではないかと述べられただけにゲストスピーカーの話に入った。

牛窪ガバナーは肥大化したロータリーに数多くの問題点があることを指摘され、特にロータリーが寄附団体化していること。地域に密着した活動をしているかどうか。財団並びに米山の現状の問題点(謝金の問題を含む)等を鋭く訴求された。1会員の意見を集約して地区へ、そして地区からRIへ十分反映させる必要があること。日本からは現在迄RI会長に2名が選出されているがこの点からも今後考えていく必要があるのではないかと述べられた。

なお牛窪ガバナーは今年度最年長のガバナーという事でしたが、ロータリー愛に満ちた、心打つ話でした。

次に今年度最年少の2500地区小船井ガバナーからは、2510地区と2500地区の交流・対話が不足しているのではないだろうか、今後は地区大会を合同で行っては如何かとの話があ

り、モータリーゼーションが時代を変革させたのと同様にITテクノロジーが全てを変革させることになる。テクノロジーの現状認識とそれをロータリーに生かす事が必要である。「手紙」が「メール」に、「月信」が「ホームページ」に変わること資金の有効な活用が可能になるのではないかと話がありました。

また前川ガバナーからは、ロータリーは日本の教育に対する具体的な



ゲストスピーカー：牛窪 栄吉ガバナー



ゲストスピーカー：小船井 修一ガバナー



ゲストスピーカー：前川 昭一ガバナー



コーディネーター：小林 博ガバナー

取り組みをすべきであるとの話があった。現在専門の知識を生かすべく青少年育成委員会を立ち上げたこと。総合学習にロータリーアンが手伝うなど、具体的にはロータリーアンが学校評議員になっていただき、教育改革のサポートをしていただければとの提案があった。これこそ小林ガバナーの提唱する家庭奉仕への具体化に違いないであろう事を述べられた。

会場は、満席となり質問も活発になされ、記念講演会終了まで途中退席する人がないなどロータリーの今後の100年について真剣に議論された。最後に「最も憂えるもの発議する義務あり」と深く感じたものであります。

## インターネット時代への対応を

島田一省（様似RC）

小船井ガバナーが、地区のホームページをご自分で立ち上げていると聞き、驚いております。つい10年位前までは、趣味の世界でしかなかったパソコン通信の時代から、まるで電話のように手軽で、実用的なインターネット通信の時代となりました。私たちの住む人口6,000人程の地区でさえ、まもなくブロードバンド通信網が開通します。

これまで以上に急速に普及し、ガバナーのおっしゃる空気のような存在になるのも時間の問題かと思えます。ロータリークラブも、事務連絡等には大いに利用して行くべきかと思えます。ただ「ガバナー月信」「ロータリーの友」のようなものは、ホームページとは別に、残してゆくべきかと思えます。

前川ガバナーの教育改革への参加については、すでに活動されているクラブもあり、今後に期待しております。活動後の具体的なカリキュラム、結果、反省などを含めた情報を開示して頂きたいと思えます。

何とかこの運動の役に立ちたいと、強く考えております。



フロアー発言



フロアー発言



フロアー発言

## RI会長代理ご夫妻 歓迎晩餐会

### 歓迎晩餐会の今後の課題

泉亭祐司（当別RC）

佐野康博RI会長代理をお迎えするプログラムとして晩餐会が本当によかったのだろうか。各クラブの会長、幹事、地区役員による歓迎でなく、地区全体で行ってもよいのではないか。今後の課題として。

今回の晩餐会は、全体的には良かったとは思いますが。交流を図る意味からは席を決める時にグループ別ではなくランダムに行っても良かったかと感じました。

バストガバナーに配慮しすぎる傾向が顕著に見受けられます。乾杯はもっとスピーディに行いましょう。

アトラクションは折角の演唱が祝宴に入ってからなので聴いている方が少なく残念でありました。

オペラ等は宴に入る前に聴いた方が良かったと感じました。

## RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 ウェルカムドリンク会場



北海道二期会のみなさん

## RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会



## 第2日目



進行 高橋 麗秋 (大会幹事)

### ロータリーソングに しばし感動

鷺尾昌法 (滝川IRC)

滝川は11月としては記録的な大雪で、式典当日も雪が降りしきり、時間通りに着けるのか心配になった。札幌に近づくにつれ雪がまったく無いのには驚いた。直線距離で80キロも変わらないのに。何だか連日の雪か

きによる疲労がどっと出てきたようだ。会場の厚生年金会館はかつてよく音楽会が行われたホールで、私もしばしばステージに立ち演奏したことがあるのでとても懐かしかった。しかし音楽会とは様相が違い、会場はロータリアンでごった返し、熱気にあふれ眠気もふっ飛ぶ。

小林ガバナーの点鐘で式典が開始された。会場いっぱいのメンバーが歌うロータリーソングにしばし感動。ガバナーのお人柄が伝わる語り口に緊張も解け、会場は暖かい空気に包まれながらも、式典は厳かに進んだ。

アグネス・チャンさんの講演会は圧巻であった。相変わらず歌は上手い。そして人を引きつける魅力。オーラが燦々と会場に降りそそぐ。それにしても少子高齢化について、その問題点が少子にあるとは気づかなかった。中国の一人っ子政策など世界的に人口問題が顕在しているし、老人、高齢、介護などの言葉が新聞やテレビに出ない日はない。少子是不安な社会を映し出すバロメーターであるとは……。なるほど今日の講演会はロータリーの精神に合致した内容なのだ。普段何気なく例会に参加している私にもロータリーが少しわかった気がした。



オープニングセレモニー：ロータリアンによる合唱

## クラブ紹介

### 和やかな地区大会

上田英二 (滝川IRC)

1日目の委員会報告のあとのフォーラムは、3人の個性ある現役ガバナーの提言はどれも率直かつ有意義

なものであり、これに触発されてか質問タイムが大変活発で、賛成・反対・感想と小林ガバナーの期待したひらかれたロータリーの良い面が表れたと存じます。



ガバナー補佐による参加クラブ紹介

翌日も好天に恵まれ、順調なプログラムでアグネス・チャン氏の記念講演は特筆に値するもので、魅力のある笑顔で冗談を織り交ぜ、歌手らしく歌も随所に聴かせながら、その言わんとするところは人種を超えるものでありユネスコ大使に恥じない素晴らしいものでした。ロイトンの昼食会も会場に多くの会員の参加のなかで美味しくいただきました。

さて、パンフレットが小振りなのは有難かったですが、活字が小さく読みづらく、そのせいかどうかトチりがあり、まあおかげで会場の気分がほぐれ、和やかな地区大会になったと思います。また、2日目の終わりを早くしたのはアイデアですが、朝早く到着のために出発も早く、本会議を2日間にしたのがどうだったのか難しいものですね。



## 参加者紹介



研究グループ交換 (GSE) メンバー

## 表彰

### ロータリー財団表彰

大口寄付者

札幌南 岩城秀晴

### 永年100%出席 (45年)



表彰される川守田勇一会員 (札幌西RC)

## 記念講演会

### ロータリーの奉仕活動に通じる内容

入口博美 (千歳セントラルRC)

従来にない形にこだわらず柔らかさが出ていました。

来賓の長々としたあいさつ等、RIの超高級幹部の話の聞き続けなければならぬという「式典」から一步脱出し、表現は悪いが「もう2度と参加したくない!」という本音に、今回のガバナーが配慮した結果がずい所にてでいたものと言え、あーこれでいいんだ、こんなに簡素化できるんだというのが実感しました。

また、記念講演においては、アグネス・チャンから歌手の片わら、日本ユニセフ協会大使という役目においてのボランティア活動が紹介されましたが、日本の豊かさを十分に感じることができた反面、物もない、

金もない、学問もない、医療も受けられないという世界の実態を直接目にしたアグネスからの話を聞き、涙した聴講者もたくさんいたのではないのでしょうか。ロータリーの奉仕活動と相通じる内容であり、とても良かった講演でした。

時間は短くとも有意義で感動のある大会を推奨した小林ガバナーの意図がここにあったのでしょうか。



### ロータリークラブの精神を発揮する時はいま

木村弘志 (函館RC)

「バブル崩壊後の不況による混沌とした時代、若者達は自分の未来に夢を持ってなく、価値観の多様化により少子高齢社会になって来た。大人達も、もっと自信を持ち気持ちに余裕をもって自分の周りの人達・地域の人達と接してほしい。又、一人の力なら孤独感・挫折感で達成できない事も皆の力を合わせると大きな力となり達成できる」、とアグネスは話していました。ユーモアな話題や、得意の歌をおり交ぜてのあっと言う間の1時間15分の素晴らしい講演でした。

ロータリーの理念である「親睦と奉仕」、様々な分野で多くの事業に取り組み、成果を挙げてきましたが、今の時代こそロータリークラブの精神を発揮する時だと思います。函館ロータリークラブの会員として微力ながら活動してゆく所存です。Sow the Seeds of Love.

## 記念懇親会



### No more 「立食」

小林栄一 (様似RC)

先ず開催時刻に関しては、私達、様似RCのように高速を利用して3時間30分かかかる遠隔地のクラブには、とてもありがたく、今後ともこの開催時間であればと、強く願っております。又、多少狭かったものの、着席しての食事も落ち着いて美味を堪能できテーブルの会話も大変はずむことができ、No more 「立食」という気持ちです。

ただ、残念乍ら、手間とひまとお金をかけて作った映像と音楽はいただけませんでした。アトラクションは何と言っても「生」です。

多少、グレードを落としても、生演奏、生出演に優るものはありません。

それだけが唯一、心残りでした。



音と映像によるアトラクション



新世代のRACメンバー



小林ガバナーからお祝いを受ける  
この日が誕生日のロータリアン

### 手作り感の強い大懇親会

伊藤正敏（岩内RC）

1,800名余の会員で埋まった懇親会場は先程、開催されたアグネス・チャンさんの記念講演の話でもちきりである。すばらしい話・そして歌、いわば「ひなげしの花」が大輪を咲かせたような、さわやかな才能に触れることができた事で、会場には和やかさが広がる。

「慈愛の種を播き」「ひなげしの花」そして音楽と映像によるコンサート「花・Love」も咲いた。今年の記念懇親会は、いかにも参加者全員（ゲストの方々を含め）による手作り感の強い、大懇親会であったと思われた。開始時間の設定等地方から参加した会員に対する心配りに感謝申し上げます。



手に手をつないで

### ほぼ及第点をつけることができた大会

高橋一郎（蘭越RC）

今までの年次大会と異なる処の多い大会でした。多少危惧して参加したのですが、アンに相違して、ほぼ及第点をつけることのできた大会であったと考えております。

第1日目の会長・幹事会では記念フォーラムが素晴らしかったと思います。ゲストスピーカーの積極的なお話にフロアからの活発な発言で、ロータリーに対する意識改革となり、勉強になりました。

第2日目は、記念講演に感銘を受けました。普通の話し口の中に突然大きな声を発するため、居眠りなど出来るヒマもなく、最後には会場にいた全ての人々が話の中に引き込まれていたようでした。

最後に、悲しいことに物故会員が例年よりも多かったことは残念なことです。帰路は大会の心地よい感銘に浸りながら帰りました。

### 地区大会記念囲碁大会 (1/10開催) 表彰一覧

A部門				
順位	氏名	クラブ名	段・級	勝敗
優勝	前田恒雄	札幌幌南	7段	4・0
準優勝	杉田弘頭	札幌モーニング	5段	3・1
1位	高島英寿	札幌幌南	6段	3・1
2位	熊谷泰隆	札幌幌南	7段	3・1
3位	小林孝夫	札幌北	4段	3・1
4位	高岩 擴	恵庭	3段	3・1
5位	安田隆義	室蘭北	4段	3・1



B部門				
順位	氏名	クラブ名	段・級	勝敗
優勝	村上 淳	恵庭	2段	4・0
準優勝	坪池栄一	札幌幌南	2段	3・1
1位	彫谷吉英	余市	4級	3・1
2位	戸部謙一	札幌西	初段	3・1
3位	中下 修	恵庭	2級	3・1
4位	砺波 寿	札幌幌南	2段	2・2
5位	伊藤 進	恵庭	初段	2・2



写真提供：長谷川久夫氏（札幌セントラルRC）・記念誌編集委員会

## ガバナーとの対話② —地区大会に寄せられたコメントへの回答

### 地区大会の委員会報告について

- Q1. 委員長報告は素晴らしいもので、その活動内容に感心させられた。ただ委員会によって時間の長短、また内容の濃淡が多すぎて少しまとまりがなかったように思う。
- Q2. この程度の内容なら予め記録誌を作って会員に配布して済むことではなかったか？
- Q3. 質疑があってもよかったのではないかと。一方通行だけでは少しもの足りなかった。
- Q4. クラブの会長幹事のご苦勞の割に、委員会活動が目立ちすぎないか？

A. 以上の4つの質問に対し一括お答えすると、今まで地区大会で地区委員会のまとまった報告はなかったように思う。極端に言えば委員会軽視と見られてもやむを得ない。そこで短時間ながら委員会活動の報告をしてもらおうということになった。ご指摘のとおり確かに委員会活動の内容に濃淡がある。しかし特定の委員会だけを選ぶわけにもいかず一律に3分以内とした。

発表者の発表のあり方は今後工夫を重ねていただければと思う。質疑があるに越したことはないが、時間制約で割愛せざるを得なかった。なお、各委員会の報告の骨子は大会プログラムに紹介されている。また委員会活動が目立ちすぎるとのご批判の陰に、クラブの会長幹事の苦勞が大前提にあることを申し上げておきたい。

### 記念フォーラムについて

Q. 記念フォーラムは各ガバナーの発表、並びに質疑ともに大変よかった。特に牛窪栄吉ガバナーの率直な発言に感銘を受けた。また前川ガバナーの話からロータリーが教育に関わることの必要性についてよく理解できた。記念フォーラムのビデオあるいは記録は出るのか？

A. お褒めをいただき有り難う。記念フォーラムを介し「ロータリーはこれから」との印象を受けた。この気持ちを大事にしていこう。

記録誌は出るが、ビデオについては幹事会で検討中である。

### RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会について

Q1. 佐野康博RI会長代理をお迎えするプログラムとしてあのような形式の晩餐会は本当によかったのかど

うか。出来れば各クラブの会長幹事、地区役員だけによる歓迎ではなく、地区全体として行えなかったものか？



- Q2. 今回の晩餐会は全体としてはよかったと思うが、参加者の交流をはかる意味では席を決めるのではなく、ランダムに座っていただくのも如何かと思うが？
- Q3. パスト・ガバナーに配慮しすぎる傾向が顕著に見受けられたが、これも如何なものか。乾杯はもっとスピーディーに行ってほしいものだ。
- Q4. アトラクションの演唱が晩餐中なので、聞いている方が少なく演唱者にも失礼になった。このような企画は招宴に入る前に聞くべきだろうし、あるいはデザートコースに入ってからやるのが普通ではないか？



A. 以上の4つの質問、提言を有り難く拝聴。RI会長代理の招宴は本来は全会員で行うべきであろうが、記念懇親会は別として慣習として会長幹事ら有志による招宴として行ってきた。席順の配置についても同様、その年のガバナーらの意向に従うより仕様がなれないのではないかと。パストガバナーに配慮しすぎるというのも、長い慣習から脱却しきれない事例である。でも地区外からのパストガバナーは来賓であるので然るべき紹介をしたが、地区内のパストガバナーは来賓としてではなく単なる紹介にさせていただいた。アトラクションのタイミングについてはご指摘のとおりであったと思う。

### 決算報告について

Q. 決算報告並びに監査報告が本会議の席上で決議されたのだろうか？

A. 本会議初日に決算報告と監査報告がそれぞれなされた。今回本会議が初日と2日目の2日間に亘ったこ



とで周知しなかったかと思う。また決算の詳細はプログラムに記載されている。

### 表彰について

- Q. 永年表彰は45年にだけ絞ったが、なぜ従来どおり40年以下についても行わなかったのか？
- A. これについては深く反省している。大会2日目をおよそ半日のスケジュールに短縮したために、永年100%も45年だけにすることになった。ただし表彰を受けるであろう人のご心情に対する配慮の足りなかった点は大変申し訳なかった。

### 会員名簿

- Q. 会員名簿を大変興味深く拝見した。ただ、2つのクラブの記載が無いのが残念だったが、それはなぜなのかよくわからない。そこに短く書かれていた記載文は違和感を生むことにならないか？
- A. 掲載していただくようずいぶん努力したつもりである。だが、どうしても協力していただけなかった。その説明文は率直に書いた。何の説明もないのはおかしいし、また曖昧な印象を残すべきではないと考



メジャードナー表彰・岩城直前ガバナーに

え、率直な経緯を簡略にお伝えした。次年度の名簿はCD-ROMにて作成すること、何とか全クラブのご協力をいただければ有り難いと思う。

### アグネス・チャンの記念講演

- Q. アグネス・チャンの講演は大変感銘深く聞いたが、このビデオなどの配布は予定しているか？
- A. 先日の記念フォーラムのそれと同様いずれ記録集

に出ると思うが、それ以前のビデオの録画等については早急に検討させていただく。

### 地区大会全体を通して

- Q. 初日の記念フォーラムは特に印象深く感動的であった。「ロータリーはこれからだ」というガバナーの言葉にも感銘を受けた。残念ながらこのような企画は会長幹事や一部の有志だけでなく全会員に聞かせてほしかった。となると従来通り2日に分けて1日で集約するほうがよかったのではないか？
- A. 試行錯誤を繰り返す中で、より理想的なスタイルに持っていくべきだと思う。ただ大事な本会議が初日からあるということも2度、3度と会長幹事にお伝えしたがみなさんに十分徹底しなかった。この地区の長い慣習が先入観としてあったためだろう。従ってすぐに1日にまとめてしまうという発想よりも、初日に大事な企画があることを十分徹底することを優先すべきでないか。次年度の検討課題としていただきたい。

### 記念懇親会

- Q. 記念懇親会における映像もよかったし、会員誕生日の企画もよかった。懇親会の流れが少しぎこちなかったように思うが。
- A. 1,500人の着席の大宴会がいかに難しいかということを知った。至らぬ点多々あったとは思いますが、懸命に努力してくれた関係者の労も知ってあげていただきたい。

### 登録料

- Q. 登録料を安くして欲しい。昨年より2,000円減ったのはよいが、まだまだ高い。せめて5,000～6,000円にならないか？
- A. 地区大会のあり方をどうするかの本質的な改革がなければ不可能である。これも次年度の検討課題である。

く(前略) がん細胞はもともと老いた細胞や傷ついた細胞を援けようとして出てきたからではなかったか。そうすれば人間は必ず老いるように、いつかは人間はがんになるのかも知れない。(後略) これは一がん学者の見解である。この言葉をうけ、作家の五木寛之さんは次のように言っている。

「老いていく自分を、私は異常とは思わない。老化は病気ではない。それが自然なのだ。とすると、老いていく過程で体内におこる変化も、決して異常ではないだろう。そこに訪れてきた不具合と対話しながら、どう折合いをつけて仲よく一緒に暮らしてゆくか。それが問題なのではなからうか。ガンを一方的に異常とみなし、それを憎み、それを叩きつぶすことだけを考えている人間は決して救われないのではないか？」



連絡先：(財)札幌がんセミナー

札幌市中央区大通西6丁目6 北海道医師会館6階

TEL: 011-222-1506 / FAX: 011-222-1526 / E-mail: scs-hk@phoenix-c.or.jp / URL: http://www.phoenix-c.or.jp/scs-hk/

広告

## 地区活動 紹介

### パヴェナ基金訪問記



家庭奉仕委員会

委員長 和田壬三

昨年バンコックを訪問して、父親から虐待されている児童や、人身売買で苦しんでいる少女、家庭内暴力で悲惨な状態になっている妻などを救済する活動をしているパヴェナさんの活動を目の当たりにして、ぜひ支援しようと決意し、一緒に訪問した真駒内RCの佐々木敦氏、札幌西RCの佐藤裕一氏、札幌南RCの鎌田洋氏と私の4名で帰国後、同業者や、ロータリアン、ボランティア仲間などに呼びかけて、合計57万円の資金が集まりましたので、このたび11月初旬に再び4人で、バンコックを訪問して寄贈してまいりました。

ドムアンロータリークラブの例会に出席して、一昨年、地区大会に招待した、シュウイットさんの紹介で、立派な寄贈式を開催してもらいました。私は現在当地区の家庭奉仕委員長をしていますが、わが国でも16万人を超える不登校児や数十万人といわれる引きこもりの青年の問題が社会問題となり、その最大の原因は、母親が、子供をおもちゃの人形のごとく可愛がり、子供が生きていくうえで必要な様々な障害を母親が、全て自ら取り除いてしまうため、子供に生きていくのに必要な能力が育たないところにあるといわれています。その背後には、金と暇はあるが、家庭は何時も妻一人に

して相手にもされないという働き蜂の夫の家庭があるのですが、我が委員会もこのような子供や妻を救う活動に取り組み始めたところであり、方法は全く正反対ですが、共通の対象を救済する活動をしているところでもあり、互いに協力し合いながら活動しましょうと誓ってまいりました。

パヴェナさんの活動は、毎年一定の賃金が必要であることや、被害にあっている子や妻を救済する方法は全く現在のタイには無いということからこれからも継続して活動を続けるを得ないということですから、私どもも続けて援助を呼びかけるつもりです。

今回は、34名の個人及び団体の方全員に、パヴェナさん自ら領収書を発行してくださいました。いずれ何らかの機会に、ご芳名も発表したいと思いますが、小林ガバナーはじめ、遠藤パストガバナーなど多数のロータリアンの方にご協力を頂きました。改めて感謝申し上げます。また次年度以降もよろしくお願ひ申し上げます。



中央の女性がパヴェナさん

### 第3回家庭奉仕 委員会勉強会



家庭奉仕委員会

委員長 和田壬三

1、10月24日に、池上学院学院長の池上公介氏を講師にお願ひし、寮

生としてお預かりしている青少年や落ちこぼれてKLMランクの青少年及び最近では、社会人になった後の引きこもりの青年などの指導を通じて、このような青少年は、本来素晴らしい能力や才能に恵まれているのに家庭や、学校教育に問題があってこのような結果になったこと、その主たる原因である家庭教育のあり方、問題点について、実際の経験を通じて、学ぶことが出来ました。

書物などを通じて、なんとなく納得していた現代の家庭が機能しなくなった姿が、最も青少年に大きな影響を与えていたことを知り、改めて、家庭奉仕について、真剣に取り組まなければならないことを痛感しました。

具体的には、池上氏（モーニングRC会員）から報告がありますので、そちらに譲りますが、父親が、家庭に不在であるため、母が、父親に対抗して父親を馬鹿にしている家庭、そこまで行かなくても子供しか相手になる人がいないため、溺愛し、子供をおもちゃにし、本来子供が成長するため自らしなければならないものを全て母親が奪って子供の成長を妨げてしまった家庭、共働きで出来合いの食べ物しか食べたことが無い子など家庭生活をおざなりにした付けが回ってきていることを痛感させられました。どうしたらこのような家庭人である父や母を教育することが出来るのか、地域（町内会）や職場で絶えず若い夫婦に対する働きかけが必要ではないか、そのためにはどのようなことをすべきかが、次の課題かなと思います。

2、今回は、11月15日（金）に第4第5グループIMのテーマとしてどのような形で取り上げたらよいのか話し合うことにしています。

3、参加者は、小林博ガバナー、角掛晴雄第5グループガバナー補佐、松本純枝深川RC社会奉仕委員長、

水野正純（新札幌RC）、長谷川美栄子（大通りRC）、大場公孝（上磯RC）（以上4名は地区家庭奉仕委員）、和田壬三（札幌南RC）

びかけた、DPI身体障害者世界大会支援のための募金に対し、深川、小平、留萌、砂川、滝川、岩見沢、岩見沢東、栗山、当別、札幌あけぼの、札幌西、札幌西北、札幌手稲、札幌南、新札幌、札幌真駒内、札幌大通公園、小樽、小樽南、千歳、千歳セントラル、北広島、由仁、えりも、三石、浦河、函館、函館亀田、長万部、函館東、函館北、苫小牧東RCの32クラブの参加をいただきました。ご協力に深く感謝申し上げます。9月

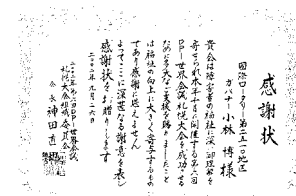
28日、小林博地区ガバナーが大会事務局を訪れ、総額80万円を西村事務局長に手渡しました。費用は大会当日の公式プログラム作成に使われました。また、すでに札幌、札幌東、札幌モーニングRCはそれぞれクラブ単独でDPI大会を支援していたとの報告が地区委員会にありました。

## DPI世界会議支援 に32クラブ参加



社会奉仕委員会  
委員長 対木正之

8月下旬に地区社会奉仕委員会が呼



## R.I.2510地区 2001～2002年度 姉妹クラブ・友好クラブ一覧



友情交換委員会  
委員長 金井重博

2002.11/20現在

ク ラ ブ	姉妹クラブ・友好クラブ				ク ラ ブ	姉妹クラブ・友好クラブ			
	先方クラブ	地区	国名	友好 姉妹		先方クラブ	地区	国名	友好 姉妹
深川	南海RC	3590	韓国	姉妹	小樽南	酒田RC(山形県酒田市)	2800	日本	姉妹
羽幌					小樽銭函	常陸大宮RC 立山RC	2820 2610	日本	友好
妹背牛					蘭越				
小平					余市	会津若松城南RC	2530	日本	姉妹
留萌	論山RC	3680	韓国	姉妹	千歳				
赤平	晋州仙鶴RC	3270	韓国	姉妹	千歳セントラル	長泉RC(静岡県)	2620	日本	友好
芦別					恵庭	パーレーヘッズRC	9640	オーストラリア	姉妹
砂川					北広島				
滝川	千倉RC	2790	日本	友好	長沼				
美唄					由仁				
江別	カトマンスRC	3290	ネパール	友好	えりも				
江別西					三石				
岩見沢					様似	馬山第一RC	3720	韓国	姉妹
岩見沢東					静内	脇野RC(徳島県) 洲本RC	2670 2680	日本	友好
栗沢	砺波(トナミ)RC(富山県)	2610	日本	友好	浦河	中堰RC	3490	台湾	姉妹
栗山	角田RC(宮城県)	2810	日本	姉妹	伊達	巨野RC(宮城県) 茅ヶ崎湖南RC	2810 2780	日本	姉妹
当別	岩出山RC	2810	日本	姉妹	室蘭				
札幌					室蘭東	ウランバートルRC	3450	モンゴル	友好
札幌あけぼの					室蘭北				
札幌はまなす	香長RC(高知県) ノカイRC	2670 3340	日本	姉妹 友好	登別				
札幌北	ウェルビーRC	9800	オーストラリア	友好	洞爺湖				
札幌モーニング	川口モーニングRC・青森モーニングRC 旭川モーニングRC・京華モーニングRC	2770 2630 2590	日本	友好	函館	京都洛中RC 澎湖RC	2650 3470	日本 台湾	姉妹
札幌西	西ダバオRC・マカティ西RC ユチカRC	3860 3820 7150	フィリピン アメリカ	姉妹	函館亀田	新発田城南RC(新潟県)	2560	日本	友好
札幌西北	ヘルシンキ北西RC	1420	フィンランド	友好	森				
札幌手稲	名古屋瑞穂RC 高雄壽山RC	2760 3510	日本 台湾	友好	七飯	森・長万部・函館北RC	2510	日本	親睦
札幌東	北ポートランドRC・鎌山東南RC ハンダニバーRC	5100 3660 3310	アメリカ 韓国 シンガポール	姉妹 友好	長万部				
札幌清田					江差	岩谷堂RC	2520	日本	姉妹
札幌幌南					函館五稜郭	東京日野RC 東京飛火野RC ライハナRC	2750 5000 2830	日本 アメリカ	友好 姉妹
札幌真駒内	東ポートランド	5100	アメリカ	姉妹	函館東	青森東RC・長崎東RC 横浜東RC	2740 2590	日本	友好
札幌南	東京東RC・金沢東RC	2580 2610	日本	姉妹 友好	函館北	千葉港RC・和歌山城南RC 台北東北RC	2790 2640 3480	日本 台湾	友好
新札幌	相模原東RC	2780	日本	姉妹	上磯				
札幌大通公園					松前				
札幌セントラル					白老	仙台西RC ケネルRC	2810 5040	日本 カナダ	姉妹
岩内	蕨江津RC ピーターズパークRC	2560 5010	日本 アメリカ	姉妹	苫小牧	相模原RC	2780	日本	姉妹
倶知安					苫小牧東	網代多賀RC	2620	日本	友好
小樽					苫小牧北	石巻RC ダラテールRC	2810 9930	日本 ニュージーランド	友好

## 第4回家庭奉仕 勉強会報告



家庭奉仕委員会

委員長 和田壬三

### I. 大場先生の講義

- 1、 渡島コロニーの経営とゆうあい診療所の所長をされている精神科医師の大場公孝氏に障害を持つ子を見分け方とその子に対する指導方法について教えていただきました。通常学級の中にある皆と遊べない子、落ち着きが無い子、注意散漫な子などの中には、LD、ADHD、高機能自閉症の子がいる。
- 2、 LDとは、学習障害ということですが、知的障害ではないが、読み・書き・計算・話す・推論などの特定の能力の習得と使用に困難をきたす子です。このような障害のために二次的にいじめにあったり、不登校になったり、チック、吃音になったりする。このような子は、好きなこと得意なことからはじめ、出来かかっている苦手なことを一つずつ出来るように指導することが大切である。
- 3、 ADHDは、注意欠陥他動性障害といい、集中して、授業が聞けない又、遊べない、忘れ物が多いなどの不注意優位型と落ち着きが無い、順番が待てない、他児への干渉など他動性衝動性優位型、と混合型があり、対策としては、教室の構造を気が散らないものに変える、教材は、目に入りやすいものを使う、場面展開を早くするなど工夫が必要である。

4、 高機能自閉症は、社会性の障害、言語発達の遅延、固執の3症状がある。原因は不明であるが、脳の障害との関連が、言われているとのこと。感情部分の機能に障害があるので社会性の欠如が認められるのである。能力的には大学教授にもなっている方がいるほどであり、指導次第では才能が開花する可能性がある。

5、 これらの子の指導に共通するところは、出来ることを褒めてやること、出来ることをさせてやり得意なことを伸ばしてやることであるということです。  
それは、家庭教育における、健全な子に対する方法と共通する面があるということでした。

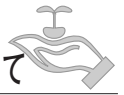
### II. 第4、第5グループIMの打ち合わせ

当委員会が主体になって、中身を詰めることとなり、別紙のような内容で、勉強会で学んだ成果について、発表することになりました。当委員会だけの成果にするに



は惜しい内容なので是非関心のある全ロータリアンに知ってもらいたいと思っています。2月22日の午後札幌市内のルネッサンスホテルで開かれます。少なくとも地区内の社会奉仕委員長さんには、ご出席下さるようお願い申し上げます。

## RI3830地区派遣GSE チームメンバーを受入れて



GSE委員会

委員長 山名善久

'02年10月16日に、当地区として初めてアジアの3830地区派遣GSEチームを受入れ、11月20日帰国の途につきました。その間受入れ事業に大変なご苦労を頂きました各グループのコーディネーター、世話クラブ、ホストファミリーの皆様はこの誌面をお借りし、心から感謝申し上げます。委員会としても、過去に例のない問題が多々ありましたが受入れ事業が終った今、心に残っているのはやり遂げた充実感と大きな感動です。チームメンバー全員が2510地区の多くの人達から、かけがえのない財産をいただいたことに心から感謝しておりました。事故もなく受入れ



事業を終えることができましたこと、重ねて皆様に感謝申し上げます。

### 委員 武藤 順

アジア初のフィリピンとのプログラムはすんなりと決まったが、その後の細かい詰め段階では、メンバーの決定と人数、受入れ期間、情報の収集等色々問題が発生して、メールのやり取りがかなりあって苦労をした。しかし山名委員長を始め委員全員の協力のもとに、そして何よりも1996年度米国カンサス・オクラホ

## 第4・第5グループのIMシンポジウムのご案内

2003年2月22日(土)午後  
会場：札幌市ルネッサンスホテル

慈愛の種は家庭から—家庭生活をより豊かにする方法について

コーディネーター  
家庭奉仕委員会  
委員長 和田壬三

### 1. 基調講演

“慈愛の種は家庭から” (現代社会における家庭について)

土橋信男 (前札幌市教育長、前北星大学学長) (札幌南RC)

### 2. パネルディスカッション

①親業訓練の方法 (直接当事者間における解決法)

土橋芳美 (親業訓練インストラクター)

②登校拒否児の訓練を通じて家庭のあり方を考える (第三者として解決する方法)

池上公介 (池上学院学院長) (札幌モーニングRC)

③発達障害児の支援を通じて家庭奉仕を考える

大場公孝 (ゆうあい会診療所所長) (上磯RC)

④親業訓練を受講して得た技術を用いて得られた成果について

松本純枝 (八旺社社長) (深川RC)

マへのGSEチームリーダーだった小林ガバナーのご理解とご支援のもとに順調に進み、チームメンバー全員が各コーディネーターとホストファミリーに感謝しながら喜んでの帰国を見送ってほっとした。



ミリーに感謝しながら喜んでの帰国を見送ってほっとした。



#### 委員会 金坂和正



GSEチームに新千歳空港出発ゲートでお別れをして無事任務終了。本当に素晴らしい地区委員

の方々にかくさんのことを教えてもらいながら充実した3830地区からの派遣チーム受入作業ができたと思う。今回は日比が一衣帯水のアジア人同士であることを強く意識したが、特に明るくすてきな3人の女性メンバーには、この5週間の経験を（反省会の時の感激のように）共に喜びと涙で語る男性と巡り会ってほしいと心から念じます。

#### 委員 岡崎芳明

私は主にホームページを担当しておりますが、初めてのアジア圏との交流は思っていた通り、親しみやすい団員のお陰で楽しく有意義な経験となりました。又団員をお引き受け

頂いた関係者各位の温かいご協力のお陰でHPの写真を受け入れ最中にもかかわらず随時更新し、皆様にお見せ出来た事と、その写真データを帰りにお土産として団員にあげられた事が何よりの喜びでした。次年度の派遣にはHPを通して派遣中の団員の様子を随時お伝えしたく思っております。



#### 委員 高橋 宏

フィリピン3830地区から6人の素晴らしいGSEメンバーが来道しました。この5週間で築いた善意と友情は本当に得がたい成果でした。まさに互いの心の中に慈愛の種を蒔いたものと確信しています。準備は大変でしたが、この5週間の彼らの言動がその成果をよく表しています。ホストファミリーと別れる時の涙が心からのものであったことは、最後の反省会で報告した時に、思い出ただけで涙を堪えられなかった事がよく物語っています。（私達も報われた仕事をすることが出来たのは幸いでした）

#### GSE委員 山内浩資

この度、2510地区ではフィリピンからの受け入れは初めてと言う事で準備段階にあらゆる打ち合わせがありました。私はGSE委員1年生でしたので先輩委員をみようみまねしながら5週間が過ぎました。担当地区は第2グループで赤平・芦別クラブさんには大変お世話になりました。この場をお借りしまして受け入れクラブやホストファミリー、そしてコーディネーターの皆様には厚く御礼申し上げます。帰国前日にGSE委員と団員による報告会がありました。各地区でお世話になった皆様の暖かいおもてなしを思い出しながらの涙の報告に我々委員も貰い泣きしながら聞き入りました。このような充実感地区幹事以来で感無量でした。ロータリーの奥の深さをさらに感じこのような事業に参加出来た事に感謝しております。有り難う御座いました。

## クラブ活動紹介

### 秋の北海高校 IAC活動



札幌東RC  
新世代委員会

#### ■赤い羽根街頭募金参加

10月5日（土）昼、IAC部員25名が駅前通りの大通一すすきの間で4カ所に分かれ、赤い羽根共同募金の呼びかけを行い

ました。同IACではあしなが募金と共に年数回、街頭募金の呼びかけに協力しています。

#### ■鴨々川清掃

10月6日（日）、朝9時に中島公園に集合、お昼まで「クリーン鴨々川清掃運動」に20名が参加しました。川岸には不法投棄の大型ゴミや家庭ゴミが多く、拾い甲斐のある状況でした。この清掃奉仕は毎年恒例の活動になっています。



#### ■視覚障害者卓球大会

10月13日（日）・14日（祝）の両日、札幌市身体障害者福祉センターにおいて開催された「東北・北海道ブロック視覚障害者卓球大会」に12名が参加。点数を知らせたり、それた球を拾ったりなどのお手伝いをしました。



尚、札幌東RC新世代委員会ホームページ (<http://rotary-under30.infoseek.ne.jp>) では北海高校IACの活動状況を画像と共に紹介しております。

## 医療に役立つ 使用済み切手



久住八郎 (栗山RC)

平成11年から使用済み切手を回収している栗山郵便局の趣旨を前年度の松下会長同じく前年度の千田国際奉仕委員長が理解をして、ロータリーの奉仕の理念に合致する、会員皆さんの少しづつの協力で捨て去られる運命の使用済みの切手を医療に役立てることが出来る。会員の中から、使用済みの切手が何で役に立つのと疑問の声もありましたけれど、消印をつけて切り取るにより、マニアーの



方に買い取っていただき、そのお金を医療費に使っていただくのですと説明して理解をいただきました。その結果栗山郵便局とあわせて一年間で、2万6,700枚回収となりましたので、栗山郵便局大隅喜久雄局長と栗山ロータリー北川清則会長が10月24日に町社会福祉協議会を訪問して同協議会の吉田輝雄会長へ段ボール箱いっぱいの使用済み切手を届けることができました。小さいけれど慈愛の種を播くことができました。

## 琴の演奏で社会 奉仕活動



金沢浩幸 (函館亀田RC)

9月14日(土)、函館市内の特別養護老人ホームの敬老会に合わせ、我々、亀田ロータリークラブ、琴亀社中(琴愛好会)一同は、慰問演奏に行っていました。

当日はメンバー総勢13名の内、11名が参加し、職員さんを含め約100名を前にし、御当地ソングであります「函館の女」を始めとし、「知床旅情」「水戸黄門のテーマ」など、7曲を披露し、入所者の方とひと時をすごし少しは心を癒すことが出来たのかな?と、思っております。

我々琴亀社中は、今年の6月に開催いたしました函館亀田ロータリークラブ30周年記念式典に合わせ、会員の手で何か披露できないかとの黒川則男会員の働きかけにより、昨年9月3日に結成、当時は会の名称もなく、又、琴を弾いた事など無い13名が集まり、今年度会長エレクトであります寺田真三会員の奥様が琴の先生だったのを聞きつけ、会を結成してしまいました。



始めのうちは、琴爪の付け方、弦を弾く方向も分からないまま、30周年に間に合わせる事だけを考えて、週2回の練習を重ねて参りましたが、少しずつ、上達していく姿を感じ、どこかに慰問活動に行こう!と言う事になり、昨年12月12日に初めて老人ホームに慰問に行き、更にクリスマス家族会で会員の皆様の前での初披露、3月には、幼稚園への慰問活動をこなし、今年6月の30周年記念式典も無事終了することとなりました。

会の当初の目標も達成出来たことであり、解散しようかとの声もありましたが、我が函館亀田ロータリークラブの名物の愛好会にしようとの皆様のご支援を頂き、これからも年2回の慰問を目的に奉仕活動を続けて行こうと思っておりますので、ご支援とご注目の程宜しくお願ひ申し上げます。

## 救命救助・応急 処置訓練の夕べ



西山 秀夫 (札幌あけぼのRC)

去る9月7日、札幌あけぼのロータリークラブ主催による今年度の新世代、職業奉仕、社会奉仕3委員会合同の事業とし

て、手稲区少年消防クラブの子供達による「救命救助に対する講話と応急処置訓練の夕べ」と題し開催致しました。

札幌市手稲区長を始め、手稲消防署長、その外多くの来賓、一般市民の方々のご参加を頂き手稲区民センターの広い会場で開かれました。

この事は、私共クラブが一昨年創立10周年を迎えるにあたりその記念行事の一環として手稲消防署を通じて手稲区少年消防クラブ協議会へ、北海道で初めて導入されたというコンピューター付き最新式の緊急救助用的人形、レサシアンを寄贈いたしました。

その後一年有余に渡り子供達の訓練を見守り、指導の手伝いも致して参りました。この事からこの子供達の訓練の成果を一般市民の皆さんにも見て頂き、こんな小さな子供達にも救命救助の大切さがわかり立派な応急処置が出来る事を実感して頂こうと開かれたものでした。開会に先立ち手稲区長、手稲消防署長からそれぞれ感謝のお言葉のあと当クラブ買手哲美職業奉仕副委員長による「医師から見た応急処置」という講話を頂き、続いてスライドによる少年消防クラブ員の活動紹介がありメインである子供達による実技訓練が行われました。小学生ながら立派な訓練に入場者の皆さんから万雷の拍手を頂きました。その後一般参加の皆さんも加わっての実技訓練が行われ盛会のうちに終了する事が出来ました。

現在20名ならずの小さな私共クラブではございますが、過去にも少年達の麻薬撲滅運動では、高い評価を頂いてまいりました。今後もクラブ一丸となって青少年育成問題に力を注いで参りたいと思います。

## 恵まれない児童を 円山動物園へ招待



—社会奉仕、新世代委員会共同行事—

東原秀行 (札幌西RC)

10月20日(日)家庭的に恵まれない児童の養護施設—札幌育児園—の児童28名(3歳~9歳)を円山動物園に招待。この行事にはロータリアン14名とそのご夫人3名が参加しました。心配していた天気もスッキリ晴れ上がり、汗を流して奉仕をするには絶好の日和に恵まれました。

参加した皆さんすっかりおじいちゃん・おばあちゃん気分。孫と遊ぶように児童たちと手をつなぎ、動物を見たり、触れたり、子供の国(遊園地)では遊具

で一緒に遊んだりしました。

ある会員のご夫人は股関節の手術後で、痛い足を引きずりながら、児童がしっかりと手を握り締めてくる体温を感じ、いじらしいと涙を浮かべていました。

またある会員は児童の躰が良いことに感動して、施設を見学して、先生方の児童への接し方等を実際に目にしたいと言っています。



更に今年度の新入会員（女性）が奉仕に積極的に参加。クラブに解け込んでいるのが印象的でした。共に汗を流す事で連帯感が生まれるいい事例だと思います。

児童たちに接して、皆一様に、手に汗するほどしっかり手を握ってくる児童、そしてどこか寂しげな仕草、表情を見せる児童たちの心の中が垣間見れた気持ちがすると、その印象を語っています。

そして児童たちの乗ったバスが出発する時には、参加した皆さんは、この児童たちの将来はどうなるのか、一体親達はこの児童たちに何をしてやっているのか等を考え、何かしら胸を締め付けられるようなジーンと来る物を感じたと言うような表情をしていました。この児童たちの将来に幸あれと願うばかりです。

## チャレンジ！ エコ・ノートの 製作について



水野正純（新札幌RC）

前社会奉仕委員長より引き続き環境問題に挑戦しました。

まず、環境問題に取り組むにあたり子供たちへの教育が効果的ではないかと考えターゲットを小学生に絞りました。それと共に当クラブだけではたいしたこと出来得ない、むしろ行政と共に考え、支援して行く事の方がその波及効果が大きいのではないかと考えました。幸い当クラブには市議会議員の原口会員がおられましたので、ご相談したところ札幌市環境活動推進課の中井課長さんご紹介をいただき数度の打ち合せの中で福岡市で出した子供用家計簿を元に札幌版を製作して小学5年生で学ぶ環境問題の副教材として利用してもらい、とのご提案があり、すぐ当クラブに持ちかえり委員会、理事会の了承を得て白石区、厚別区の全小学5年生に配布する事が決まりました。

札幌市教育委員会とも相談しつつ製作を開始して8カ月後、『チャレンジ！エコ・ノート』として完成しました。2000年6月15日、札幌市教育委員会において贈呈式が行われ席上、教育長より感謝状が授与されました。翌年には札幌市より予算がついたので『チャレンジ！エコ・ノート』を全市の小学校に配布したいとお申し出がありましたので、無償で『チャレンジ！エコ・ノート』の版權を札幌市に寄贈しました。この製作に携わった方々に改めまして感謝申し上げます。

## 自慢ばなし



前田恒雄（札幌南RC）

我が、幌南RCの自慢ばなし。

世界的にロータリークラブの会員の減少が、最近とくに目立っているようである。いくつかのクラブを除いて、我がクラブもご多分にもれず、減少傾向を辿っているように見える。原因はいろいろ言われているが、経済的なものが第一であろう事は、論を待たないのであるが、そ

ればかりではない。

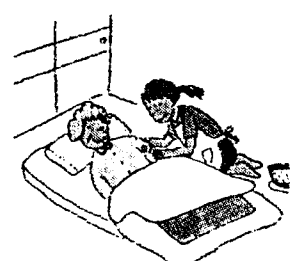
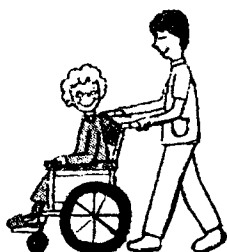
私が入会したのが、1989年、まさにバブル絶頂期、推薦者にロータリークラブとは何か、などの説明は受け、さらに知恵も授かったのだが、新人では、そんなことは頭に入ろうはずもない。だから入会した直後から、しばらく孤立無援の状態が続き、昼食会に参加するだけ。ほとんどの新入会員は、多かれ少なかれ、しばらくはこんな感じで在籍しているのではないだろうか。ここいらあたりで、退会するか、ふんばるかの、分岐点にさしかかる。

比較的物怖じしない人は、継続のコース、おとなしめの方は退会のコース、に分かれることになる。勿論、当クラブには新入会員に対して、ファイヤーサイドミーティングをしたり、各種親睦クラブの入会などを、お奨めしているのだが、それでも退会者が後をたたない。さらに私が当クラブに入会して13人の、名会長、名幹事が続いたのだが、この会員の減少傾向はどうしたものなのか。

ここで登場したのが今年度の砺波会長である。いつもクラブ運営について、会長として、人一倍苦慮していた。そんな時にいい知恵が浮かんだらしい。どうも今までは、それぞれの委員会や同好会はあっても、それに参加していないと、関心を持っている会員以外は、何をしているか全く理解できない。

そこで砺波会長は、委員会の横のつながりや親睦を深めるために、同好会など、面白いニュースを拾いあげ、毎月一回クラブ・メッセージとしてレターボックスに入れている。これが全会員に好評で、会員相互の親睦に大変役に立ち、最近では退会者も減少し、クラブの雰囲気さらに和やかになってきているように思っている。会長幹事会でも、小林ガヴァナーにお褒めの言葉をいただき、つつい自慢話として書いてしまった。他のクラブの参考になればと思います。

## 看護の心をみんなの心に



やさしい社会の実現を・・・

社団法人 北海道看護協会

# 会員の声



## 世界を知った “ボルシチ パーティー”

伊藤知佳子(札幌北RC)

去る10月6日(日)「札幌北ローターアクト」が主催する「ボルシチパーティー」に参加させて頂きました。「料理を通じて世界を知るフードパーティー」の第2弾として、ロシアからの財団奨学生である“リュウバ”のお別れ会も兼ねて行われました。



メニューは当然のことながらタイトル「ボルシチ」とロシア風の水餃子「ペリメニ」です。その国の文化や風土に触れるには、まずその国の料理を知るのが一番の近道と私も常日頃思っていますが、調理中には数々の驚きがありました。「ボルシチってサワークリームやザワークラフトをスープの中に入れちゃうんですね。」「ペリメニは、バターやジャムを付けて……」と等々の驚きの声。サワークリームはエビフライに付けて、ザワークラフトは漬物だから……、餃子は酢正油で。といった日本式固定概念を持ってしまっている私達にとっても、ロシアについての小さな発見をし、文化や風土に触れる事ができる大変楽しいひと時でした。



そしてそんな楽しい調理の時間を終え、いよいよパーティーが始まりました。ロシア語で自己紹介をし、(リュウバは下手なロシア語にも優しく微笑んでくれていましたが……)ロシアの音楽を聞き、デザートはウオッカを垂らしたアイスクリーム。すっかり「リトル・ロシア」が出来上がり、大変活気に満ちていました。こうした「世界を知るフードパーティー」の中で、ローターアクトを始めとする若者達も、調理等を通して「驚き」や「発見」を重ね、柔軟な発想や国際感覚を育ててほしい……。 (そして新米ロータリアンとして自分自身もこれを失いたくない……。)と強く感じた素晴らしいひと時でした。



## より身近になった 「ガバナー月信」

米谷龍三(札幌東RC)

私がこの月刊誌の発行を知ったのはごく最近の事です。配布先については、前年度までは「2510地区」の各会長、及びその役員に限られ、一般会員には初めての試みと伝えられています。

この度雑誌委員として、このガバナー月信4カ月分を詳細に読み始めると、全国的な「ロータリーの友」誌と違い、かなり詳しく地区の内容が伝わってきて、私が今まで抱いていたロータリーのイメージが変わり、内容全般に、非常に情報量が豊富である点に気が付きました。具体的には、同じ2510地区のロータリアンの新入会員や、71クラブの幹事を、写真付きで紹介され、より親近感を持って拝読することが出来ました。しかも、身近に起きた問題の提供など、一般会員にまで枠を拡張して頂

いた小林博ガバナーに、深く感謝致す次第です。



## 感動ある40年の 歩みに学ぶ

(40周年記念に寄せられた  
メッセージより抜粋)

山本幸子(江別RC)

2002年4月13日(土)江別RC創立40周年の記念式典の際に寄せられたご挨拶や式辞等のメッセージをロータリアンとして、かみしめる思いで再び読み返しての感動を是非月信にと思い、たまたま原稿依頼を頂きましたので、ご紹介する次第です。



江別RC前年度会長  
林 敏昭会員

昭和37年2月3日仮クラブとし発足、2月19日加盟承認、正式誕生をみる。初代会長岩田政勝氏が努められ、歴代会長を通し岩田氏の意志は脈々と今日まで受け継がれ、「友情・信頼・奉仕」の高い理想と実践をもって年々数多くの奉仕活動となっている。



江別RC創立40周年  
記念実行委員長  
岩田雅明会員

クラブ発足、創立1年半後入会。職業奉仕が大事と教わる。職業倫理を重んずる精神が身に付いた企業人たれ。お金を寄付して済まさない。体を使い汗を流す奉仕を求められた。地区大会でRI会長代理のフィリピンの方の言葉は印象深い。「たとえ自分は貧しくても、豊かな人々に贈ることが出来るものがある」……。自分は世の為人の為に何が出来るかもつと考え身近な事から実行する。



平和の砦を築きたい。戦争は人の心の中で始まると言う。平和の小さな芽生えが今日この集りから育って行く事を願い私達ロータリアンの使命としたい。



米山奨学委員会  
池田春男会員

米山奨学委員カウンセラー体験を経て、国境を越え「ネパール・日本友情学校」の建設開校の支援をしておりました。ネパール人Dr.ダナパティ氏に野村会頭と共に約束をし、70名が220名になり増築を計る必要が生じ、ロータリー40周年記念事業とし力を借り一棟2教室の増築をする運びとなり、日本の学校をモデルに充実を進めつつある。私を大きく動かしたものは、97-98年RI会長グリーンキンロスのスローガンと挨拶だった。「戦争のない平和な世界。皆んなに教育のある世界。特に貧困・飢餓・識字率の向上」ロータリアンは草の根運動の努力を国を越え広く力を貸して欲しい……。これからも私自身の生きがいとして進みたい。



## 地区大会 記念フォーラムを聞いて

青木功喜(札幌東RC)

RI批判から始まったこのフォーラムでは、質問に手を上げたが、取り上げられない程の意見が出た。この事は、今のRIに多くの問題がある事を象徴している。日本人の考え方は、悪いところを直してより良くしようと言う考え方が基本にある。しかし米国人は、良い事を伸ばしていく事により悪い事は少なくなっていくと言う考えである。真の国際理解は相手のあらを探す事ではない。お互いの良いところを見合っ初めて真に理解しあえるのである。ロータリーが国際組織である限り、この違いを忘れたくない。それは組織が大きくなったための組織疲労だけでなく、国際組織が抱える宿命である。

米国人は現在を大切に、将来過去にはあまり軸足をおかない。これは開発途上国も同じである。その点我が国やヨーロッパの国は、過去将来に軸足が置かれている。そのため何か行動する際には、その理念と言う裏づけが常に強く要求される。しかし目の前に解決すべき問題が山積

している開発途上国では勿論、これを援助する場合、行動が先行する。

行動と理念、将来過去と現在の比重の違いは、年齢の違いにも強く反映してくる。最近の我が国のように、高齢者の比重が重くなるに連れ、このバランスが崩れて来る。過去にこだわること少ない若者は、将来を見据えるため過去に対する配慮は少なくなる。過去や将来に対する考えは、宗教を信じている人と信じていない人とは明らかに異なる。問題はこれらの年齢の違い、地域の違い、軸足の場所が違って、お互いが国際ロータリーとして、一つになる意義の最大公約数を忘れない事であろう。そのためにはロータリアンである前に、より良い人間性は勿論、国際ロータリアンとしての自覚が優先するのではないかと。

日本ロータリーとして独立していくばくの事ができるであろうか。日本のロータリアンが世界のロータリアンの水先案内人になる気概があるのであれば、もっと国際的センスを磨く事が必要であろう。ICなどのハードウェアがいくら発達しても、これも使う一人一人の国際性が前提としてなければ、国際ロータリーの正しい改革とその進歩は望めない。

## これからのグループ別のIMの予定

グループ	月日・時間	時間	会場	担当RC	テーマ
6	2003年2月15日(土)	13:30~	余市中央公民館	余市	「こんな日本に誰がした。経済再生シナリオ」 講師：石井一二(東京北RC)
8	2003年2月16日(日)	13:00~	様似公民館	様似	未定
4・5	2003年2月22日(土)	13:00~ 18:00	札幌ルネッサンスホテル	札幌幌南	「慈愛の種は家庭から」(仮) 一家庭生活をより豊かにする方法についてー コーディネーター 角掛晴雄AG
9	2003年2月23日(日)	14:10~ 19:00	室蘭市市民会館 室蘭プリンスホテル(懇)	室蘭	①基調講演：命の尊さ「がんに挑む、がん学ぶ」 ②「がんに関する何でも相談」コーディネーター 斎藤修弥AG
7	2003年3月8日(土)	13:00~ 16:30	ホテル日航千歳	千歳セントラル	未定
10・11	2003年3月29日(土)	14:00~	函館ロイヤルホテル	函館	未定
12	2003年4月6日(日)	15:00~ 19:00	白老中央公民館	白老	未定
1・2	2003年5月24日(土)	13:00~ 17:00	赤平市文化会館	赤平	未定

\*なお、第3グループは既に終了

# 2003年度RI年次大会 (94回) ブリスベン大会ご案内

過日の地区大会で「速報版」としてご案内申し上げましたが、今回はご案内のスケジュールとは別に年次大会参加型の短期間のスケジュールのものも企画致しましたので、両案をご検討下さい。

今回は大会に参加して感動を覚え、ロータリーを学び親睦、友好を深めるために2回の「北海道ナイト」を企画しました。

## ① 5月31日(土) 17:00より

開会式の前日、新世代委員会のお世話による北海道ナイト「交換留学生と交流の夕べ」です。オーストラリアへ帰国した元交換留学生だった皆さんとホストファミリーの皆さんとの感動的な再会が実現すればと期待されます。

**場 所** ブリスベン市内レストラン「ピアニン」(日本領事館の隣りで眺めの良い所です)

**参加費** ロータリアン **5,000円**  
元交換留学生 無料

## ② 6月1日(日) 19:00より(開会式終了による)

開会式の終了後、国際奉仕委員会、友情交換委員会のお世話による北海道ナイト「友情交換の夕べ」です。RI2510地区のロータリアンと2510各委員会や各ロータリークラブと交流のあった世界のロータリアンとの友情交換で、今後の2510地区の友情交換の発展を期待して行うものです。

**場 所** ブリスベン市 サウスバンク ブリスベン

**参加費** RI2510地区ロータリアン、地区に関係された世界のロータリアンとその家族 **5,000円**

### Aコース 既発表のもの

NO	日時	都市	日程
1	5/30 金	新千歳 成田	国内線・国際線乗り継ぎにて ブリスベンへ 機中泊
2	5/31 土	ブリスベン ゴールドコースト	ゴールドコースト市内観光 『北海道ナイト』交換留学生と交流の夕べ ゴールドコースト又はブリスベン泊
3	6/1 日	ブリスベン	ブリスベン市内観光 国際ロータリー年次会『開会式』出席 『北海道ナイト』友情交換の夕べ ゴールドコースト又はブリスベン泊
4	6/2 月	ブリスベン キャンベラ	『日本人朝食会』 空路、キャンベラへ キャンベラ泊
5	6/3 火	キャンベラ メルボルン	キャンベラ市内観光 空路、メルボルンへ メルボルン泊
6	6/4 水	メルボルン	メルボルン市内観光 メルボルン泊
7	6/5 木	メルボルン シドニー	空路、シドニーへ シドニー市内観光 シドニー泊
8	6/6 金	シドニー	出発まで自由行動(夕刻まで) 国際線で帰国の途へ 機中泊
9	6/7 土	成田 羽田 新千歳	通関後、羽田へそして国内線にて 新千歳へ

### Aコースみどころ

オーストラリアの代表都市、キャンベラ・メルボルン・シドニーを訪ねる見どころいっぱいコースです。

### 旅行代金(概算) 320,000円

- \*最低催行人員 15名以上
- \*利用航空会社 日本航空又はカンタス航空(エコノミークラス)
- \*デラックスホテル使用
- \*朝食6回 昼食6回 夕食1回
- \*含まないもの  
大会登録料・北海道ナイト(2回分)費用・日本人朝食会費用  
渡航手続きに関する費用

☆30名以上になれば旅行代金が27万円代になります。

### Bコース 大会参加型

NO	日時	都市	日程
1	5/30 金	新千歳 成田	国内線・国際線乗り継ぎにて ブリスベンへ 機中泊
2	5/31 土	ブリスベン ゴールドコースト	ゴールドコースト市内観光 『北海道ナイト』交換留学生と交流の夕べ ゴールドコースト又はブリスベン泊
3	6/1 日	ブリスベン	ブリスベン市内観光 国際ロータリー年次会『開会式』出席 『北海道ナイト』友情交換の夕べ ゴールドコースト又はブリスベン泊
4	6/2 月	ブリスベン	『日本人朝食会』 国際ロータリー年次会参加 ゴールドコースト又はブリスベン泊
5	6/3 火	ブリスベン	国際ロータリー年次会参加 ゴールドコースト又はブリスベン泊
6	6/4 水	ブリスベン	国際ロータリー年次会参加 ゴールドコースト又はブリスベン泊
7	6/5 木	ブリスベン 成田 羽田 新千歳	国際線で帰国の途へ 通関後、羽田へそして国内線にて ★新千歳へ★

※『北海道ナイト』『日本人朝食会』は自由参加です。

### Bコースみどころ

オーストラリア・クィーンズランド州の州都『ブリスベン』を心ゆくまでお楽しみください。

### 旅行代金(概算) 280,000円

- \*最低催行人員 10名以上
- \*利用航空会社 日本航空又はカンタス航空(エコノミークラス)
- \*デラックスホテル使用
- \*朝食4回 昼食1回 夕食0回
- \*含まないもの  
大会登録料・北海道ナイト(2回分)費用・日本人朝食会費用  
渡航手続きに関する費用

### 取扱旅行会社

株式会社 日本旅行北海道 札幌支店 支店長 阿部 功一 担当: 斎藤・佐藤  
〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 東京生命館1F TEL: 011-281-5241 FAX: 011-232-0074

### 企 画

オン・ツー・ブリスベン委員会 委員長 遠藤 正之PG(札幌南RC)



## 追悼 富山惟夫ガバナー

### 富山さんを悼む

パスト・ガバナー

石垣博美（札幌セントラルRC）

富山さんが亡くなり、涙が止まらない。風に涙が乾いても、この悲しみは消えない。富山さんは私より3年ほど若いので、あと5年位は頑張っただけで願う。そういう思いの友は私だけでないと思う。

亡くられる2カ月ほど前に私が病床をたずねた。そして1月前に私の妻がお見舞いをした。私の名を呼び、うれしいと叫んでおられた。

ロータリーは不思議な社交場である。普通、晩年になるともう、いろいろな会合に出ても、新しい友を得るということはあるまい。ところが、ロータリーではそれが起きる。私は富山惟夫という人の周りにいて、一緒に仕事をしているうち、「生涯の友」を得たという気分になっていた。旧制高校で寮歌を歌う気分になっていた。よい意味でロータリーのクラブ・ライフには、そういう若いオーラ、雰囲気があるのではないかな。

ところが、富山さんはロータリアンとしては、私のはるか大きな先輩であった。したがって、新しい「志」をたてるときは、まずご賛同を得るべく「志」を富山さんに伺った。次に、方法論にいろいろご心配を頂戴した。ロシアから大学生をわが地区へ毎年2人ずつ招待しているが、このプロジェクトは小林ガバナー年度で4年目に及び定着した。みんなに大変良いプロジェクトと評価されてきたことがうれしく、財団委員長として富山さんの裁断が光った。先日サハリンに帰国した2人の学生（アリーサとリュウバ）の写真を8月の病床でお見せした。富山さんは感激しつつも長い間写真を見つめていた。

このプロジェクトは、富山プログラムとして永続を願っている。次にわれわれは、もう1つ大きなプロジェクトに挑戦していた。私は長年の豪

州研究で日本、特に北海道にとっての「交流相手国」としては、豪州はいちばん良いという結論に達した。なぜなら、豪州の若者は日本を尊敬し、愛して、日本語を学んでくれるからだ。戦後50年はそうだったが、10年前の「ロシア共和国」成立以来、ロシアがトップになる勢いである。そこで、北海道の対外交渉戦略を北のロシアに重点を移すべきであろう。

このような現状認識に立ってみると、残念ながらロシアと北海道との交流は現在までのところ、断絶状態と言ってもよいのではないかな。戦後、負の遺産として受け継いだ「北方領土問題」のせいである。そこで今、われわれロータリアンがこの断絶を打破するために、「RI会長主催のアジア会議」を札幌で開催する提案をつくりあげた。富山さんは「直訴するほかなし」と私に伝えてきました。それ以来、RI会長には毎年直訴するが、勿論、無視される（丁重なお断りが2つ）。夢のような話だが、もしこれが現実のものとなったら、富山さんは必ずや天国から、舞い降りてくるであろう。そして、私たちの手を熱く握り締めるであろう。

私は富山さんの娘婿、現小樽商大の瀬戸教授からすばらしい話をお伺いし、感動した。なぜなら、富山青年は終戦の年、東京市ヶ谷の陸軍兵学校で対ソビエト戦略の特攻任務の訓練に没頭していたと言う。3月10日の東京大空襲で「われ奮戦せり」と日記に残している。このロシアの現風景が、富山さんの晩年に甦ってきたのだ。

私は、富山さんからロシア語を習うのが楽しかった。私は近年、新しいクラブの拡大に努めてきたが、これも当初より富山さんの強い支持が私の心の支えになっていたように思う。

大いなる理念、信念の人、富山さんのご冥福を祈る。

### 富山パスト・ガバナーと私

パスト・ガバナー

遠藤 正之（札幌南RC）

長い間のご指導に心から感謝を申

し上げながらご冥福をお祈り致します。

彫心瘦躯や、腰をまるめた富山PG。そして相手をいたわり、さとするようなゆっくりとした口調でロータリーのこと、又人としての生き方のこと等かずかずのお教えを頂きました。

私がガバナー・ノミニエの年2月アナハイムの国際協議会に出かける際には数年前のご自分の経験されたもの、メモを出し、自らその研修の受け方、そのまとめ方等を数度にわたってご教示頂いたのが、つい先日のように思い出されます。

又、ガバナー年度になっても親切にその方向性をご指導頂き、お陰で数々の小過はあったにせよ、大過なく年度を終えたのも富山PGのお教えがあったためと思っております。

富山PGは、オフィシャルな会以外には机上に常に煙草とコーヒーを準備するのが常で、これ等がないと何か落ち着かない様子で、これが卓に揃い話題がロータリーの話となれば、止むことを知らない論客と変じ、先生のまわりには、その徳を慕い、ロータリーの心に共感する人達が自然に集まり、その先見性と行動力をお教えたものでした。人間に与えられた奉仕の心を常に持ち続け、それを実行されていたことはお通夜の席でも報告されておりました。

私がガバナーになった2000年のクラブ公式訪問の1号に、7月5日に留萌クラブを訪問させて頂き、その際も不慣れた私を親切にエスコートして下さいと賛辞を頂き、先生の人間性の深さを知ることが出来ました。

以来、陰になり、陽になりご指導を頂いたのですが、2001年3月23日会議終了後、ホテルで急な発病に見舞われたと聞いております。

それから札幌に入院しておられた間数回お見舞いに伺ったのですが、常にロータリーの事を気にされ、解明にご指導を受け賜ったものでした。ただ、2000-2001年の地区大会に出席できないを残念がっておられました。

今、変らなければならないロータリー、変えてはいけぬロータリーを思うとき、地区としてはまだまだ

ご指導をお願いし、私達を引っ張って頂かねば成らない時にお送りしなければならぬことは、病根の極みです。今迄のご指導に感謝し、ご冥福をお祈り申し上げます。

## 富山惟夫先生を偲ぶ

留萌RC会長

大沼哲郎（葬儀委員長）

故富山惟夫先生は、院長として多忙を極める中で、ライフワークとしての、ロータリーの活動に、多くの時間を割いておられました。昨年3月、札幌で行われました、ロータリーの会議に出席、終了後ホテルに戻り、休もうとした矢先に体調の異常を来しました。

札幌中村記念病院に搬送され、救急の処置受け、快方に向かってからは、リハビリに勤め、小康を保っております。

今年9月には、地元留萌市立病院に転院し、最新の医療をうけ、また、御家族、特に奥様の愛情あふれる献身的な介護を受けておりました。安定した日々を過ごしておりましたが、今月、

11月に入り寒波がこの留萌を襲う時期、季節の変わり目になのでしょうか、チョットしたすきを襲われた形で、容態がにわか急変し、15日午後0時10分、黄泉へと、旅立たれたのであります。享年78歳でございました。人生80年という時代を考えると、今しばらく先生の御指導を、賜りたかったと思うのは、私だけではないと思っております。

故人は、大正14年8月17日、増毛町にて、富山鑄四郎・スエ様の二男として生まれました。旧制留萌中学校から、当時、成績優秀のみならず、健康で思想的にも安定した、きわめて優秀な青年のみが、入学を許された、陸軍士官学校へ進みました。卒業目前で、終戦となりその後は、北大医学部へと進まれたのでございます。

同大学で、医学博士号を取得、昭和26年医師試験に合格し、整形外科を専攻いたしました。大学では、医局長から、講師になり、その後は、教授への選択肢もあったようですが、父鑄四郎さんの気持ちを察してか、開業医の道を選びました。

昭和37年現在地で、整形外科医院を開業され、現在にいたっております。

この間、昭和29年にご夫人、好子様と結婚され、一男二女がおり、長男有一さんが、現在院長を勤められております。

これまでに、留萌医師会会長、留萌市環境審議会会長、北海道ゲートボール連合会会長等の要職を勤められました。とりわけ、ゲートボールの普及と発展に貢献したことで、日本連合功労賞、留萌市文化奨励賞を受賞され、その活動は高く評価されております。

また、留萌ロータリークラブ、第14代会長として、地域の奉仕活動に積極的に参加され、平成5年7月から、一年間、国際ロータリー第2510地区ガバナーとして国際的に活躍されておりました。

その後、パストガバナーに就任されてからは、隣国、ロシアに、ロータリークラブを拡大すべく奔走されておりました。このように、まだまだ活躍して欲しかった先生ですが、近代医学をもってしても、適えられず、ここに78歳の意義ある生涯を終えられたのであります。皆様とともに心より、ご冥福をお祈り申し上げたいと思います。



癒されたい…

リラックスしたい…

自分自身への贈り物。

パラマウントベッド。  
あなたの新しい居心地。

## Club Paramount



ベッド：クラブパラマウント 5121WR

深く眠るためのクオリティ。もうそれだけではありません。インテリアとしての美意識やアイテムの広がり、リクライニングを始めとするベッドを超えたファンクション。知性を磨き、エンタテイメントに触れ、家族と語らう。「クラブパラマウント」。個のあなたをみつめた真新しい価値から、ベッドルームはもっと自由な空間に生まれ変わります。プライベートはもっと豊かな時間に高まります。

「頭」「背」「足」をそれぞれ  
やさしくワンボタンでセットできます。

快眠はもちろん、「テレビ鑑賞」「読書」  
「リラックス」などに最適。

あなたの大切なひとときを、  
最適なポジションで…。

- シングルサイズ（マットレス付） ￥520,000
  - ワイドシングルサイズ（マットレス付） ￥580,000
- ※ボード色：レッドメイプルとホワイトメイプルの2色。  
※ベッド全体が上下に動く高さ調節タイプもあります。

パラマウントベッド株式会社 札幌支店

URL: <http://www.paramount.co.jp/5121>

〒060-0062 札幌市中央区南2条13丁目318番地11 TEL.011-271-1181 ☎0120-03-3648

ショールームがございます。ぜひお立ち寄り下さい。

# 10月会員増減数・出席率報告

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			02.7.1	02.10.31	増減	内女性	
1	深川	3	46	45	-1	2	88.69
	羽幌	5	47	48	1	1	70.95
	妹背牛	4	12	12	0	0	77.10
	小平	4	15	17	2	1	63.23
	留萌	3	69	69	1	0	83.94
	小計		189	191	2	4	76.78
2	赤平	3	37	37	0	1	89.99
	芦別	3	60	59	-1	0	95.45
	砂川	3	61	61	0	0	93.45
	滝川	4	108	112	4	2	78.00
小計		266	269	3	3	89.22	
3	美幌	4	48	48	0	0	84.00
	江別	4	50	50	0	2	86.93
	江別西	3	41	42	1	3	90.72
	岩見沢	4	97	104	7	0	92.41
	岩見沢東	3	33	34	1	3	85.23
	栗沢	3	35	33	-2	2	91.14
	栗山	3	34	35	1	2	88.59
	当別	3	46	47	1	0	86.39
	小計		384	393	9	12	88.18
	札幌	3	120	128	8	0	98.83
4	札幌あけぼの	4	19	19	0	1	98.68
	札幌はまなす	3	29	29	0	4	77.93
	札幌北	3	58	58	0	7	86.55
	札幌モーニング	3	61	63	2	0	77.10
	札幌西	3	75	79	4	2	92.47
	札幌西北	4	52	55	3	2	89.38
	札幌手稲	4	52	52	0	0	98.56
	小計		466	483	17	16	89.94
	札幌東	4	123	126	3	0	98.77
	札幌清田	3	26	27	1	5	100.00
5	札幌幌南	4	88	85	-3	0	100.00
	札幌真駒内	3	50	51	1	2	98.35
	札幌南	3	97	99	2	0	98.48
	新札幌	3	42	43	1	2	91.91
	札幌大通公園	4	17	18	1	5	79.41
	札幌セントラル	4	0	23	23	7	90.21
	小計		443	472	29	21	94.64
	岩内	4	37	37	0	0	81.74
	倶知安	4	54	53	-1	4	81.00
	小樽	3	96	94	-2	0	89.33
6	小樽南	4	86	88	2	0	94.81
	小樽銭函	4	20	20	0	2	82.00
	蘭越	3	18	18	0	0	66.25
	余市	3	49	49	0	4	85.62
	小計		360	359	-1	10	82.96

クラブ数	72クラブ
期首会員数	3,461人*
当月末会員数(女性)	3,531人(101人)
増加会員数	70人
当月平均出席率	82.95%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			02.7.1	02.10.31	増減	内女性	
7	千歳	4	74	74	0	2	88.50
	千歳セントラル	3	33	35	2	0	78.00
	恵庭	4	50	49	0	0	84.50
	北広島	3	16	16	0	2	89.33
	長沼	3	18	18	0	4	78.00
	小計		209	210	1	9	80.84
8	えりも	4	27	27	0	0	83.33
	三石	5	20	19	-1	1	92.98
	様似	3	24	25	1	2	74.20
	静内	3	68	68	0	0	85.07
	浦河	3	44	39	-5	1	83.02
	小計		183	178	-5	4	83.72
9	伊達	3	53	56	3	0	78.24
	室蘭	4	66	68	2	0	62.73
	室蘭東	3	56	55	-1	1	85.00
	室蘭北	3	52	52	0	2	77.31
	登別	3	40	40	0	2	85.00
	洞爺湖	4	14	14	0	0	100.00
小計		281	285	4	5	81.38	
10	函館	4	101	105	4	0	76.00
	函館亀田	3	51	54	3	1	75.80
	函館	3	51	51	0	0	78.00
	七飯	3	33	32	-1	0	81.00
	長万部	3	11	11	0	0	54.50
	小計		247	253	6	1	73.06
11	江差	4	20	20	0	0	67.90
	函館五稜郭	4	71	73	2	0	85.18
	函館東	5	67	67	0	6	77.87
	函館北	3	46	51	5	0	72.78
	上磯	4	34	34	0	3	67.60
	小計		246	253	7	10	72.39
12	白老	3	34	34	0	1	82.00
	苫小牧	4	68	67	-1	0	79.35
	苫小牧東	5	33	33	0	3	78.02
	苫小牧北	3	52	51	-1	2	89.78
	小計		187	185	-2	6	82.29
	合計		3461	3531	70	101	82.95

## ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー	ポール・ハリス・フェロー
紺野 誠一 会員(3) 9月13日 (苫小牧北RC)	山田 一孝 会員(1) 10月25日 (静内RC)
神部 洋史 会員(3) 9月27日 (滝川IRC)	吉本 勲 会員(1) 10月31日 (静内RC)
坪谷 六郎 会員(1) 9月27日 (滝川IRC)	
武岡 大信 会員(1) 10月25日 (静内RC)	
長浜 和也 会員(1) 10月25日 (静内RC)	
	高橋 徹 会員 10月11日 (札幌東RC)
	安田 憲也 会員 10月25日 (深川IRC)
	大橋 由政 会員 10月25日 (岩内RC)
	黒坂 清一 会員 10月25日 (森RC)
	石垣 勝英 会員 10月25日 (静内RC)
	市毛 満 会員 10月25日 (静内RC)
	小野寺道春 会員 10月25日 (静内RC)
	福嶋 尚人 会員 10月25日 (静内RC)
	棚橋 直登 会員 10月31日 (深川IRC)
	阿部 喜朗 会員 10月31日 (苫小牧RC)

## 事務所だより

- 地区大会への多くのご参加ありがとうございました。皆様のお陰で、無事終了することができました。
- 毎月の会員数および出席率の報告は、最終例会終了後15日以内ですので、早めのご提出をお願い致します。
- 月信への原稿をお寄せ下さい。特にクラブ活動、会員の声をお待ち致します。投稿の際には、スナップ写真も添えて下さい。
- 12月のロータリーレートは120円です。

## 計 報

倉地孝男 会員 (森RC)

平成14年11月9日  
ご逝去(享年74歳)



《ロータリー歴》  
第11代会長・各委員長歴任  
第10分区分代理歴任  
昭和63年6月  
ポールハリスフェロー受賞

## 国際ロータリー第2510地区 2002-2003年度 ガバナー月信

発行人 2002-2003年度ガバナー 小林 博  
発行元 国際ロータリー第2510地区  
2002-2003年度ガバナー事務所  
発行日 毎月1日発行 年12回  
編集委員 ◎竹原 巖 (地区幹事) 委員長  
大田すみ子 (地区幹事)  
熊谷 満 (地区幹事)  
脇田 稔 (地区幹事)  
米山 道男 (アドバイザー)  
松本 新 (アドバイザー)

事務局 札幌市中央区大通西6丁目  
北海道医師会館6F  
TEL 011-219-2510 FAX 011-222-1526  
E-mail scs-hk@phoenix-c.or.jp

# 掲示板

## 〇例会変更

- 留萌RC  
12月18日(水)→12月14日(土)「年忘れ家族会」18:00  
平成15年1月13日(月) 休会
- 芦別RC  
12月23日(月) クリスマス家族会により、夜間例会  
場所 北の京芦別  
時間 17:30
- 小樽RC  
12月17日(火) 12:30~小樽グランドホテル  
↓  
12月17日(火) 17:30~ヒルトンホテル
- 江別RC  
12月19日(木) 12:30~  
" 18:00~  
12月26日(木) 定款第5条第1節により休会  
1月2日(木) "
- 滝川RC  
12月12日(木) 忘年会(夫人同伴)  
場所 三浦華園 18:00~  
12月26日(木) 定款第5条第1節により休会  
1月9日(木) 12:30~  
↓  
1月9日(木) 18:00~
- 岩見沢RC  
12月21日(土) 家族忘年例会 18:00~  
※ 事務所の休業 12月28日(土)~1月5日(日)
- 当別RC  
12月10日(火)→12月11日(水)「年忘れ会」18:00~  
12月31日(火) 休会\*
- 岩内RC  
12月12日(木) 18:00点鐘

- クラブ総会と夫人同伴年忘れ親睦パーティー
- 長沼RC  
12月9日(月)→振替休会(12月6日)新世代会議  
23日(月) 法定休会  
30日(月) 特別休会
  - 苫小牧RC  
12月27日(金) 休会\*  
\*定款第5条第1節に基づく休会
  - 室蘭東RC  
12月25日(水) 12:30~  
↓  
12月25日(水) 18:30~
  - 小樽南RC  
12月20日(金) 12:30~  
↓  
12月20日(金) 18:30~

## 〇お詫び・訂正

月信11月号p26のR財団寄付者一覧で、一部表記が誤っておりましたので、お詫び申し上げます。正しくは下記のとおりです。

- ポール・ハリス・フェロー
- 北村祐治会員(函館北RC) 9月5日
  - 石田茂夫会員(新札幌RC) 9月6日
  - 舟谷絹子会員(深川RC) 9月17日
  - 川角晃会員(室蘭東RC) 9月27日

## 12・1月地区カレンダー

12月			1月 ロータリー財団月間		
日	曜日	行事	日	曜日	行事
1	日	ロータリー研究会(大阪)11月28日から	1	水	
2	月		2	木	
3	火		3	金	
4	水		4	土	
5	木		5	日	
6	金	ロータリーの友座談会(東京、12:20)ガバナー出席	6	月	ガバナー事務所オープン
7	土		7	火	
8	日	青少年交換委員会、第2回全国青少年交換委員長会議(東京)	8	水	
9	月		9	木	
10	火	札幌セントラルRC公式訪問(札幌プリンスホテル、17:00~)	10	金	
11	水		11	土	
12	木		12	日	
13	金		13	月	
14	土		14	火	
15	日		15	水	
16	月	青少年育成準備委員会(ガバナー事務所、13:00~)	16	木	
17	火		17	金	ガバナー諮問・指名委員会(札幌グランドホテル、18:00~)
18	水		18	土	
19	木		19	日	
20	金		20	月	
21	土		21	火	
22	日		22	水	
23	月		23	木	
24	火		24	金	
25	水		25	土	
26	木		26	日	
27	金		27	月	追悼記念週間(1/27を含む週;2/1まで)
28	土		28	火	
29	日		29	水	
30	月		30	木	
31	火		31	金	半期報告、人頭分担金送金締切